

東京歯科大学同窓会会報 第380号

目 次

グラビア

巻 頭 言	1
お知らせ	2～7
理事会のうごき	7～8
東京歯科大学 創立120周年記念事業	9～12
支部のうごき	13～21
ふるさと自慢	22
クラス会だより	23～25
OB会・グループ・サークルだより	26～27
庶務日誌	28
逝去会員	29～30
追 悼	30～31
へんしゅうこうき	32

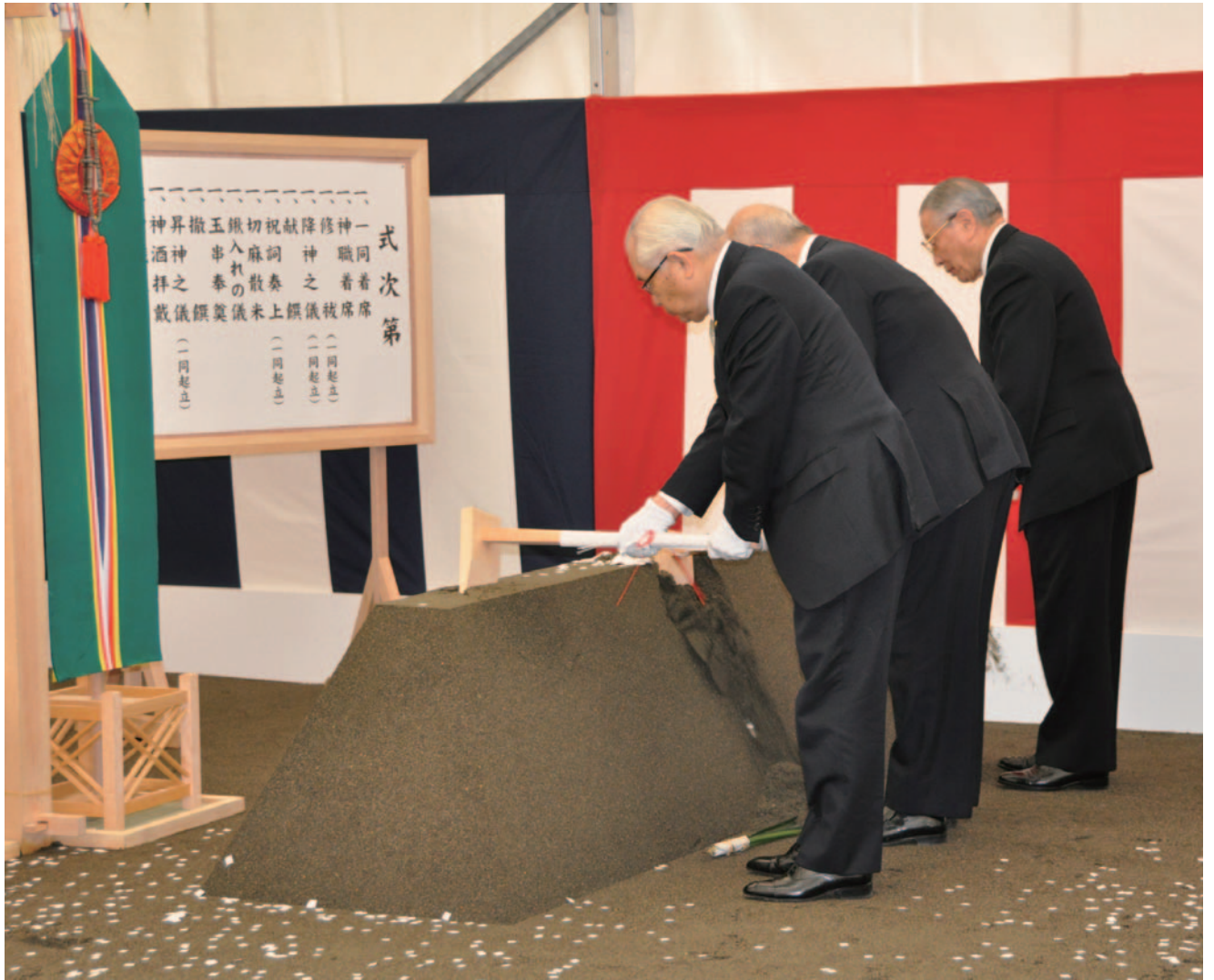
(表紙 河原俊朗)

---

「東京歯科大学同窓会会則」(8ページ)を巻末に添付

# 起 工 式

～水道橋移転へ～



平成23年2月19日 さいかち坂校舎（仮称）にて



2月19日、さいかち坂校舎（仮称）にて起工式が行われました。

さいかち坂校舎（仮称）は、地上8階、地下1階の校舎として平成24年2月末に完成予定、4月より1年生が学ぶとのことです。

場所は、水道橋－御茶ノ水の間、線路沿いのさいかち坂を登ったところにあります。通学には、坂を登らない分御茶ノ水駅（御茶ノ水橋口）の方が近く感じるようです。



さいかちの木



水道橋側よりさいかち坂



御茶ノ水駅よりかえり通り

さいかち坂の名前の由来は、坂にある標識に

この坂を皂角坂といいます。『新撰東京名所図会』には「駿河台鈴木町の西端より土堤に沿いて、三崎町の方に下る坂なり」とかかれています。名称については、『新編江戸志』に、「むかし皂角樹多くある故に、坂の名とす。今は只一本ならではなし」とかかれています。「サイカチ」とは野山にはえる落葉高木で、枝にとげが多く、葉は羽状形で、花も実も豆に似ています。

と書かれています。

「今は只一本ならではなし」と書かれています。現在坂上近く校舎正面の少し水道橋よりに名前の由来となる木があります（写真）。



校舎予定地より水道橋方面を望む



東京医科歯科大学



日大歯学部附属病院

近くには、東京医科歯科大学、日大歯学部があり環境は稲毛とは大きく変わると思われま。これからも、校舎のこと、周辺の様子など紙面において報告していきます。

## 同窓会の機構改革



事業推進部常任理事

中西 国人

昨年は、東京歯科大学創立120周年の年にあたり、大学と同窓会が協調して記念事業等に取り組んで成功を収めました。

また、記念事業の一環として大学の水道橋への移転というプロジェクトが進められています。来年（平成24年）には、「さいかち坂校舎」で1・2年生の授業が始まるという事で、もう目の前まで来ている現実でございます。

同窓会といたしましても、大学が行なっております「血協記念ホール」および「東京歯科大学ミュージアム」（仮称）の設備・建築費という目的の為の「ご寄付のお願い」に対して先般、皆様へご協力をお願いを致しました。ここに改めて、我々の原点である母校を物心両面で支える為にご協力の程を、よろしくお願ひいたします。

平成21年度から、大山執行部が進めてまいりました会

員目線での同窓会改革が平成22年度にまず「同窓会改革検討特別委員会」を立ち上げ答申書を受け、理事会で慎重審議いたしました。それをうけ「会則検討特別委員会」を立ち上げ、中間答申が出され、評議員会を経て、本年度から形となり現れてまいりました。その一つとして執行部の再編があります。これまで8部で構成されておりました各部を総務・厚生部、会計部、渉外部、広報部、事業推進部の5部へ統合されました。この中で担当いたしております事業推進部は、これまでの学術部と保険部が統合されただけではなく、大学との連携事業の検討（本年度はTDCインプラントセミナー・マスターコースとして、本学の基礎系・臨床系の教授及び准教授で構成された講師陣で行なう）、若手同窓会員支援の研修会の企画運営（昨年度は医事処理の事例を軸としてカルテ記載と学術的対処を卒後5年目程度の会員を対象として行った、本年度もその流れを踏襲する）、シンクタンク機能の推進を図る等（本年度は、同窓会フォーラム「国民に最良の歯科医療を提供するために」として日本型医療制度を探るために文化人類学者の波平恵美子お茶の水女子大名誉教授を交え行う）の多岐にわたる事業を抱えております。

また執行部は、さらなる同窓会改革推進のために以下の3チームを持ってあたります。第一に会則検討チームとして、会員資格・会費・その他会務運営上の問題を検討し、変更を行なうべき会則を把握する。第二に改革実行チームとして、在校生へのアプローチ、クラス会との連携、支部との情報ネットワークの連携強化、臨床研修医会員の特定化と支援、そして移動連絡を確保する。第三に機構改革チームとして昨年の評議員会で協議された①執行部役員について②評議員のあり方について③地域支部連合会の役割について等の機構改革を推進する。

このように、これまで階段を一步づつ昇るように慎重に改革を進めてまいりました。これからも会員の先生方の積極的なご意見を頂き、より良い改革を目指したいと思っております。現在、かなりの支部との情報ネットワークが構築されています。活用していただきご意見をお寄せ下さい。

東京歯科大学同窓会は、会員数では及ばない大学同窓会がありますが、優秀な人材を多く抱えているという点では、他の追従を許さないと考えております。会員の先生方のご支援を賜り、「強い同窓会」を目指して参りたいと思っております。

# お知らせ

## 理事会より

- 新しい年度をむかえ第1回の理事会が開催されました。改革元年といいたいしょうか、この平成23年度から同窓会改革がスタートしました。特に執行部の会務執行機構が8部から5部に再編成され、新たに事業推進部ができました。

## 同窓会事業・行事

- 第39回全国ゴルフ大会  
と き 平成23年9月15日(木)  
ところ 武蔵カントリー豊岡コース(埼玉県)
- 平成23年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会  
と き 平成23年11月26日(土)  
ところ 如水会館(千代田区一ツ橋2-1-1)
- TDC 卒後研修セミナー2011プログラム

### 東京歯科大学同窓会フォーラム

『国民に最良の歯科医療を提供するために』

～日本人の健康観と日本型歯科医療制度を探る～  
2月20日(日)

### 卒研セミナー

#### No.1 イブニングセミナー

『iPadを使った患者さんとのコミュニケーション』  
～臨床記録の保存と活用～ 3月24日(木)

#### No.2 実習セミナー

『攻めのTBIとフッ化物の応用』  
～治療を目的とした、知って得するテクニック～  
4月24日(日)

#### No.3 ディスカッションセミナー

『義歯の設計を考える』  
～診るポイントとは～ 6月26日(日)

#### No.4 イブニングセミナー

『スタンダードプリコーション』  
～感染に対する正しい知識～  
9月8日(木)

#### No.5 実習セミナー

『床型装置と咬合育成』  
～介入時期と介入方略～ 11月27日(日)

- TDC インプラントセミナー・マスターコース

開催日程

- 5月14日(土)・15日(日)
- 6月18日(土)・19日(日)
- 7月16日(土)・17日(日)
- 9月3日(土)・4日(日)
- 10月1日(土)・2日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部

Tel.03-5275-1761

## 地域支部連合・支部関係

### ●地域支部連合会会長の交代

平成23年1月1日付

東北地域支部連合会	松山 陽一 氏 (昭34卒)	東海地域支部連合会	柘植 敏生 氏 (昭44卒)
前連合会長	鈴木 雅夫 氏 (昭44卒)	前連合会長	国島真希子 氏 (昭51卒)
関東地域支部連合会	大森 淨二 氏 (昭47卒)	九州地域支部連合会	渡邊 修志 氏 (昭35卒)
前連合会長	成田 賢二 氏 (昭43卒)	前連合会長	副島 洋二 氏 (昭53卒)
信越地域支部連合会	池田 守人 氏 (昭50卒)		
前連合会長	高垣 順吉 氏 (昭42卒)		

### ●支部長交代

平成23年1月1日付

茨城県支部	小鹿 典雄 氏 (昭49卒)	城東支部	市川 邦彦 氏 (院57卒)
前支部長	山口 忠夫 氏 (昭39卒)	前支部長	丹沢 朝彦 氏 (昭53卒)
千代田支部	川上 光一 氏 (昭51卒)	北信支部	小宮山能康 氏 (昭52卒)
前支部長	山田 茂子 氏 (昭47卒)	前支部長	水橋 巖 氏 (昭43卒)
日本橋支部	山 滋 氏 (昭54卒)	東信支部	土屋 栄良 氏 (昭49卒)
前支部長	南部 弘実 氏 (昭52卒)	前支部長	佐藤 秀道 氏 (昭45卒)
足立支部	茂木 元介 氏 (昭53卒)	南信支部	池田 守人 氏 (昭50卒)
前支部長	片桐 博陽 氏 (昭50卒)	前支部長	松野 文昭 氏 (昭48卒)
深川支部	大浦 好章 氏 (昭55卒)	中信支部	飯島 和彦 氏 (昭42卒)
前支部長	和泉 正行 氏 (昭46卒)	前支部長	竹内 忠彦 氏 (昭39卒)

平成23年1月22日付

芝支部	鮎瀬 公彦 氏 (昭52卒)
前支部長	近藤 保 氏 (昭48卒)

## 母校関係行事・案内

### ●平成23年度東京歯科大学入学試験

一般入学試験 (Ⅱ期)

大学入試センター利用試験 (Ⅱ期)

編入学試験 平成23年3月12日 (土)

詳細は377号 (8月号) 11~12頁に記載

### ●第116回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式

と き 平成23年3月17日 (木) 午前10時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

### ●平成23年度東京歯科大学入学式

と き 平成23年4月5日 (火) 午後1時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

### ●東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式

と き 平成23年3月11日 (金) 午後1時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

### ●東京歯科大学歯科衛生士専門学校入学式

と き 平成23年4月4日 (月) 午前10時

ところ 東京歯科大学千葉校舎講堂

平成23年度 理事会・常任理事会，卒後研修セミナー，広報部委員会  
年 間 開 催 日 程 表

理事会・常任理事会		TDC 卒後研修セミナー2011		広報部会報委員会	
開催日	区 分	開催日	研修内容	開催日	作業内容
1月15日(土)	第1回 理事会			1月12日(水)	2月号編集
2月16日(水)	第1回 常任理事会	2月20日(日)	東京歯科大学同窓会フォーラム	2月9日(水)	4月号企画
3月10日(木)	第2回 常任理事会	3月24日(木)	卒研セミナーNo.1 イブニングセミナー・ipad	3月11日(金)	4月号編集
4月16日(土)	第2回 理事会	4月24日(日)	卒研セミナーNo.2 実習セミナー・TBI	4月11日(月)	6月号企画
5月18日(水)	第3回 常任理事会	5月14日(土) 15日(日)	TDCインプラントセミナー・ マ ス タ ー コ ー ス	5月11日(水)	6月号編集
6月15日(水)	第4回 常任理事会	6月18日(土) 19日(日)	TDCインプラントセミナー・ マ ス タ ー コ ー ス	6月10日(金)	8月号企画
		6月26日(日)	卒研セミナーNo.3 ディスカッションセミナー・義歯		
7月9日(土)	第3回 理事会	7月16日(土) 17日(日)	TDCインプラントセミナー・ マ ス タ ー コ ー ス	7月11日(月)	8月号編集
				8月22日(月)	10月号企画
9月17日(土)	第4回 理事会	9月3日(土) 4日(日)	TDCインプラントセミナー・ マ ス タ ー コ ー ス	9月12日(月)	10月号編集
		9月8日(木)	卒研セミナーNo.4 イブニングセミナー・スタンダード		
10月8日(土)	第5回 理事会	10月1日(土) 2日(日)	TDCインプラントセミナー・ マ ス タ ー コ ー ス	10月12日(水)	12月号企画
11月25日(金)	第6回 理事会	11月27日(日)	卒研セミナーNo.5 実習セミナー・咬合育成	11月11日(金)	12月号編集
12月17日(土)	第7回 理事会			12月2日(金)	平成24年 2月号企画
				平成24年 1月11日(水)	2月号編集
(理事会7回・常任理事会4回)					
1. 理事会 土曜日 午後2時30分 水道橋校舎特別会議室(5階) (連絡会 午後1時00分)  2. 常任理事会 水曜日 午後5時00分 水道橋校舎特別会議室(5階)		1. 会 場 水道橋校舎 TDCビル13F		編集・企画会議  1. 時 間 午後7時00分	

総務・厚生部より

## 「高齢会員の基準変更と会費免除」について

### 平成24年から、クラス会毎に会費免除

平成22年度評議員会において、高齢者会員についての会則が一部改正になり、同じ卒業学年と一緒に会費が免除になるように変わりました。今までは75歳から高齢会員でしたが、いわゆる早生まれの方も、74歳で会費免除となります。(巻末の同窓会会則を参照)

### 既に会費免除の方は勿論、これからも免除

既に、会費免除となっている会員と新たに会費免除となった会員は、次年度以降も会費は免除です。

### 共済負担金免除会員

従来どおり、80歳になられた次の年からの免除となります。

## 会費免除の具体例

平成23年は、従来どおり昨年（平成22年）に75歳になられた会員が新たな会費の免除の対象になります。昭和10年に生まれた会員が該当します。

平成24年からは新しいルールになります。新たに会費免除の対象になる方は、卒後50年を経過する昭和36年卒業の先生方全員です。中には早生まれの方で、75歳にならなくても会費免除になる方もあります。勿論それ以前に高齢会員になられた方は、会費免除のままです。

	新たに免除となる会員	
平成23年 (2011年)	昭和10年生まれ (昭和35年卒でも昭和11年1月1日から4月1日生まれは対象外)	
24年 (2012年)	昭和36年卒 平成23年12月31日現在で80歳以上	(昭和35年卒の昭和11年生まれも対象) (既に免除されている)
25年 (2013年)	昭和37年卒 平成24年12月31日現在で80歳以上	(既に免除されている)
26年 (2014年)	昭和38年卒 平成25年12月31日現在で80歳以上	(既に免除されている)
27年 (2015年)	昭和39年卒 平成26年12月31日現在で80歳以上	(既に免除されている)
28年 (2016年)	昭和40年卒 平成27年12月31日現在で80歳以上	(既に免除されている)
29年 (2017年)	昭和41年卒 平成28年12月31日現在で80歳以上	(昭和11年生まれの会員)
30年 (2018年)	昭和42年卒 平成29年12月31日現在で80歳以上	(昭和12年生まれの会員)



## 会務アラカルト

### 支部加入を

同窓会の会則は本年1月から一部改正になりました。今までの会則は名簿の巻頭にあるものをご利用いただきてきましたが、今回の改正を含めた新しい会則をこの会報2月号に載せてありますのでご利用ください。その会則第7条の(所属)では、「本会の会員は、その住居地または業務従事場所の何れかの支部に所属する。」とあります。ご存知のように同窓会組織は本部があり、地域支部連合会があり、支部があります。会員はそれぞれ支部、地域支部連合会、本部に所属することになり、そこでの活動が同窓会活動になります。地域支部連合会は11あります。

北海道地域支部連合会は10支部  
東北地域支部連合会は6支部  
関東地域支部連合会は16支部  
東京地域支部連合会は41支部  
信越地域支部連合会は5支部  
東海地域支部連合会は4支部  
北陸地域支部連合会は3支部  
近畿地域支部連合会は6支部  
中国地域支部連合会は5支部  
四国地域支部連合会は4支部  
九州地域支部連合会は8支部  
それに大学支部が加わり全部で109支部編成になっています。

昨年の統計によりますと支部加入会員は5818人、それに対して2461人が支部に加入していません。昨年支部未加入の先生方にアンケートをとる機会がありました。回答は100人不足でしたが、少し紹介しましょう。まず73%の人が支部に所属しなければならないことを知らなかったとあります。支部に所属しない理由の質問に対しては、一位は「しらなかった」、次が「気にしていなかった」、あとは「そのまま時がたっ

た」、[どこに連絡したらよいかわからない]などでした。今後の加入意志については「ある」が25%、「少しある」が17%でした。アンケートに協力してくれた先生方ではもっと高い参加希望の意向を期待していましたが、「ある」と「少しある」とをあわせても42%と、今後が心配になってしまいます。さらに別の統計ですが、年齢別に支部未加入者の分布をみてみますと、未加入は若い世代の方が高く、特に平成卒業の先生方では大変高い数字を示しています。このようなことから若手の同窓活動への参加促進、特に支部加入については今急いで対応していかなければならない優先課題であり、若い先生方におかれましては、足腰の強い組織作りのためにも、支部加入を強くお願いする次第です。

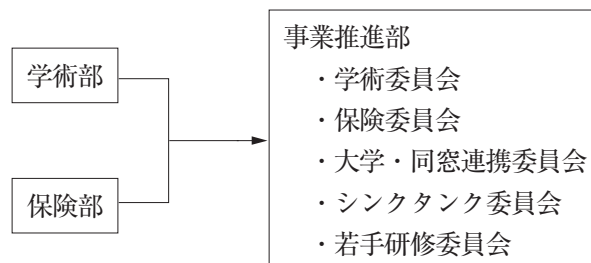
### 事業推進部の誕生

このように足腰の強い同窓会づくりを目指す同窓会改革は、事業改革と機構改革に分けることが出来ますが、今年は事業改革部分がスタートし、そのための事業推進部ができました。新しい事業推進部の委員会構成は、保険委員会と学術委員会、そして新たな大学・同窓連携委員会、シンクタンク委員会、若手研修委員会の3委員会、あわせて5委員会となりました。保険と学術とに改革関連の“大学との連携事業”、“シンク

タンク機能”、“若手を考えた研修事業”を実施するための新しいパートが加わり、より大きな機能集団へと変身したのです。

平成22年度では、同窓会改革事業は正式なものとして認められていなかったもので、トライアルとして位置づけられ事業系ワーキンググループをつくり担当してもらいました。そのときの事業系ワーキンググループの構成は、卒後研修セミナーや保険診療ポケットブック製作に忙しい中でしたが、旧学術部委員の先生方と旧保険部委員会の先生方にお願いました。この三つの新設委員会のメンバーは事業系ワーキンググループのときと同じで、学術、保険の委員会を中心にお願いし、さらには他の部の委員会からも協力してもらいます。

さて、新委員会の仕事ですが、大学・同窓連携委員会では今年スタートのインプラントセミナー・マスターコースを中心に、シンクタンク委員会では2月に開催される同窓会フォーラムの開催、そしてさらに歯科医療のあるべき姿を追求したり、旧学術部での研究部活動も積極的にすすめる、人材育成もしながら、学会などへの報告、会員の先生方にも情報提供をしてゆく予定です。また若手研修委員会では、若手同窓のための研修企画はもちろん、若手の支援のための多彩な企画を考えていく予定です。



## 今年注目の企画：TDC インプラントセミナー・マスターコース

大学・同窓連携委員会は大学と同窓とが一体化していこうとする要の委員会ですが、この委員会から新しいインプラント研修コースが誕生しました。土曜・日曜の10日間コース

で5月にスタートします。何と云っても東京歯科のインプラントのエキスパートが集まりました夢の企画ともいえます。インプラントセミナーは以前より学術部の卒後研修セミナーで行ってききましたが、今回の大学との連携強化により本格的な東京

歯科大学発のインプラントセミナーを企画することができました。患者さんに信頼のおけるインプラント歯科医療を提供するために本当の知識と技術の習得を目的としたインプラントセミナー・マスターコース、今から楽しみです。

# 理事会のうごき

## 第6回理事会

平成22年11月26日（金）午後2時30分  
於 特別会議室  
出席 31名  
議長 大山会長

### 会長挨拶

二期目の執行部を預かり、難問山積のなか役員各位のご協力により無事に一年が過ぎようとしていることに対する謝意。

明日の評議員会では、解釈の違いにより複雑になる可能性のある議題を提議している。また母校に対する寄付に関しても誤解があり様子見の会員が多数いると聞いている。難しい内容もあるが一般会員に理解を得るためにも説明をしなければいけないと考えている。大学からも資料を提供していただき説明があると思うが、同窓会からも逐次状況を出していかなければならないので、役員一同もご勘案いただき理解を得るようにご協力いただきたい。

### 黙 禱

平成22年10月16日から本日までに逝去連絡があった17名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告および承認

- 1) 平成22年10月16日から12月22日までの日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務部：①支部学術講演会講師派遣交通費支出を1件報告。②秋の叙勲受章者、同窓会会長賞授賞者を報告、祝意を表した。

### 平成22年秋の叙勲受章者

旭日小綬章 清藤 勇也 氏（青森県・昭和34年卒）  
旭日双光章 盆子原光美 氏（北海道・昭和37年卒）  
旭日双光章 小林 英彌 氏（山形県・昭和31年卒）  
旭日双光章 瀧 義孝 氏（愛知県・昭和37年卒）  
瑞宝双光章 片野光一郎 氏（群馬県・昭和35年卒）  
瑞宝双光章 鳥居 正雄 氏（静岡県・昭和36年卒）  
瑞宝双光章 梶井 文忠 氏（山口県・昭和40年卒）

### 平成22年春の叙勲受章者

旭日双光章 本間 康男 氏（福島県・昭和18年9月卒）  
瑞宝双光章 八田 羽照 氏（千葉県・推薦）

### 東京歯科大学同窓会会長賞授賞者

最優秀賞 寺川 由比 氏  
（平成22年3月修了・歯科麻酔学講座）  
優 秀 賞 大金 覚 氏  
（平成20年3月修了・口腔外科学講座）  
優 秀 賞 中村 安孝 氏  
（平成22年3月修了・法歯学講座）

- (2) 会計部：①平成22年度10月末執行調べを報告。②規程に基づき事務職員冬季期末手当支給を報告。
- (3) 渉外部：①10月に開催された六歯科大学歯学部校友会同窓会懇談会報告。
- (4) 学術部：①学術部委員会報告。②TDC 卒後研修セミナー2010報告。③評議員会時配付予定のTDC 卒後研修セミナー2011プログラム報告。
- (5) 広報部：①広報部委員会報告。
- (6) 厚生部：①平成22年度逝去会員は11月22日現在累計125名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。
- (7) 保険部：①保険診療ポケットブックの配布およびその後の活用について報告。
- (8) 情報部：①情報部委員会報告。②TDC 同窓会HP アクセスレポート報告。

- (9) 作業部会：①管理系ワーキンググループ報告。②事業系ワーキンググループ報告。③情報ネット推進ワーキンググループ報告。
- (10) 第58回全国歯科大学同窓・校友会懇話会準備会報告。

### 各地域選出理事報告

#### 1) 戸田理事（北海道）

- ①北海道地域支部連合会卒後研修会が開催されたことを報告。
- ②来年の連合会総会は9月十勝支部担当により帯広市で開催予定であることを報告。

#### 2) 高橋理事（東北）

- ①東北地域支部連合会は6月に定例の総会が開催されており、その間は個別に支部長と連絡を取っている。寄付に関して一般の先生の状況を報告。

#### 3) 長久保理事（関東）

- ①来年の関東地域支部総会は山梨県担当で9月開催の予定であることを報告。関係役員に出席の依頼。

#### 4) 早速理事（東京）

- ①東京地域支部連合会支部長会が開催されたことを報告。
- ②連合会総会開催予定であることを報告。

#### 5) 飯島理事（信越）

- ①信越地域支部連合会は12月で役員改選となるので、来年の予定は新執行部が決めることを報告。

#### 6) 宮田理事（東海）

特になし

#### 7) 宮本理事（北陸）

- ①来年の北陸地域支部連合会総会は10月富山県支部担当により富山市で開催予定であることを報告。

- ②寄付に関して状況を報告。

- ③評議員の削減他明日の評議員会に向けての意見を報告。

#### 8) 井口理事（近畿）

- ①近畿地域支部連合会総会が開催され有意義な会であったことを報告。

#### 9) 山根理事（中国）

- ①来年の中国地域支部連合会総会は6月島根県支部担当により松江市で開催予定であることを報告。

#### 10) 久保田理事（四国）

- ①来年の四国地域支部連合会総会は5月開催予定であることを報告。

#### 11) 濱田理事（九州）

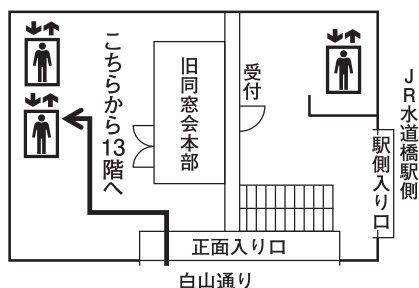
- ①寄付に関して報告。

### 協議事項

- 1) 会費、共済負担金納入延期願いについて1件承認。
- 2) 母校創立120周年記念事業の協力金について承認。
- 3) 平成23年度理事会等日程(案)を提案、協議の結果、承認。
- 4) 平成22年度評議員会、総会、懇親会の運営について提案、協議の結果、承認。
- 5) 評議員会において会務処理機構変更が承認されると平成23年度より施行されることから、部内の編成、各部の事業の活動内容、作業部会など、新会則および事業計画に則り見直しが必要になり、第5回常任理事会で決定し、活動を始めることが提案され、承認。
- 6) 平成23年度同窓会主催全国ゴルフ大会日程について協議、継続審議となった。
- 7) 東京歯科大学同窓会職員就業規則について協議の結果、承認。

## 卒後研修セミナー会場のご案内

### 1F 案内図



卒後研修セミナーの会場はこれまで血腸ホールを利用してまいりましたが、水道橋移転事業に伴い水道橋校舍13階のセミナー室に変更されています。

セミナー室へは大学病院入口の『駅側入り口』ではなく、白山通りに面した「正面入り口」の左側からエレベータにお乗り下さい。

# 東京歯科大学 創立120周年記念事業

## 東京歯科大学120周年記念事業学長座談会

日 時：平成23年 1月31日

場 所：法人事務局5階 移転準備室

### 出席者

金子 讓 東京歯科大学学長  
大山萬夫 東京歯科大学同窓会会長  
関 泰忠 東京歯科大学同窓会副会長  
高橋義一 東京歯科大学同窓会専務理事



### 【はじめに】

**高橋** いよいよこの2月、水道橋移転事業の起工式があり、同窓にとっては水道橋移転の状況が具体的に見えるようになり、みなさんの関心も益々高まってくると思います。今回の座談会は同窓会からは大山会長、そして長い間母校創立120周年記念事業の協力を担当しております関副会長が出席され、移転の状況、大学の現況、寄付について、そして同窓会とのかかわりについて金子学長よりお話を頂きたいと思います。

**大山** 金子学長には公務にお忙しい中、お時間を頂きありがとうございます。座談会を通して大学の状況を

皆さんにお知らせしたり、移転がこのような状況で進捗しているということを、会員からの声を交えながらお聞きしたいと思います。

**金子** 宜しくお願いします。

### 【水道橋移転事業の起工式】

**大山** まず移転ですが、いよいよ2月の19日に起工式があり、移転のスタートとなりますね。

**金子** 起工式は2月19日に、さいかち坂校舎（仮称）で行います。

リパークの場所は同時着工かどうかは未定ですが、時期をそう違えずに行える予定にはなっております。さいかち坂での起工式は三箇所〔本

館校舎、新館校舎、さいかち坂校舎（仮称）]の建築・改修を代表して行います。ご来賓を含めて約50名の方々に工事の安全を祈っていただきます。

**関** 起工することが決まるまで、建設会社の決定などについても十分に調べて進めてきたと聞いております。

**金子** はい。まず今回の建築に関して、従前とは大きな違いが出発点からあります。それは設計監理と施工を分けたことです。従前は鹿島建設(株)を指名入札で、設計と監理・監督、そして施工も全部同社にお願いいたしましたが、今回は設計と施工



とを分け、さらに建築会社は入札方式で決定する意思で始まっていますから、この手順を着々と進行させてきました。

**高橋** 前の移転のときとはずいぶん違うんですね。

**金子** 設計会社決定前に財務関連を専門とする弁護士、公認会計士に東京歯科大学の実態把握をしてもらい、可能な返済額と借入金額をまず検討してもらいました。それでこれなら無理ないだろうという額を出した上で、設計会社を日本設計㈱に決め、建築総額をはじき出しました。平成20年秋にはリーマンブラザーズによる世界不況が始まりましたので、本学の財務をまず念頭に置き世界的な事態の把握に努めながら、初期計画を大幅に変更するなどフレキシブルに対応してきました。専門家の意見や算定などに基づいて執行部が素案を作成し本法人が意思決断していくと、こういうやり方をずっと続けてきました。

入札は、まず国土交通省の公表による日本の建設業界のランクに基づいて10社選びました。その10社には今まで教育施設、医療施設を施工した実績や会社の財務状況が分かる資料、そしてこのプロジェクトにかかる熱意などを提出してもらい、理事会にかけて6社に絞りました。スーパーゼネコン3社、中堅が3社の6

社でした。そして現場説明を11月に行い、年末に入札を行いました。提出資料については熱田理事長と私と建設担当常務理事の井出副学長の目の前で開けて金額を確認した上で、日本設計㈱が内容を持ち帰って精査しました。そして見積もり条件の詳細確認などいくばくかのやりとりをした後で、日本設計㈱に総合評価を出してもらい、1月開催の理事会に最終判断を仰ぎ同日の評議員会で承認を得ました。結果的に最低額入札の清水建設㈱が、内容的にも最も良からうという判断で決定が下されました。

**大山** なるほど、そういう形で清水建設㈱に決まったんですね。平成24年の新入生がさいかち坂の校舎に入り、東京歯科大学の水道橋移転が本格的に始まるわけですね。

#### 【移転後の学生教育について】

**関** 「水道橋の移転が決定されたのだから協力するよ」と言う会員の声が多くなりましたが、中には学生のカリキュラムはどうなるのかとか、学生教育についてすごく心配なさってる同窓も多いですね。そのあたりのお話を伺えれば、と思います。

**金子** 教育カリキュラムは、教養、基礎、そして専門科目がありそれらを統合した教科目から成り立っています。現在の歯学教育は、全国の教育水準を一定に担保するために「コアカリキュラム」が作成されておりまして、これを全時間の6割に当てます。他の4割は各大学自由に行えるようになっています。水道橋移転後にはこの大筋は変わりませんが、登院学生は院内実習だけではなく開業の診療所で体験実習をする計画もされています。あるいは都内歯学部との交換授業なども考えられます。学部学生、大学院生にとって教育カリキュラムは大学連携の中で選



択肢が増える利点が水道橋にはあります。3箇所に分かれた教育施設でのデメリットをご心配されてのことと思いますが、学生が授業であちこちと移動することのないカリキュラムにできます。

この6年一貫制という中で最も影響を被ったのが、教養科目です。これは明らかにもう短縮されている。新制大学発足に向かって歯学部の教育年限を決める行政委員会で奥村鶴吉学長が何を主張したかと。それは歯科医学を学ぶ上で、また歯科医師になるのには6年間が必要で、それは専門教育だけでなくリベラルアーツが必要なんだと、職人じゃないんだと主張いたしました。私はこの真理は依然として残っていると思っています。教養は人の多様性を理解することで患者さんとのコミュニケーションをとることや医療倫理の咀嚼に欠かせませんし、また国際的な活躍のための人としての資質として教養は、特に21世紀知識基盤社会の中では重要だと考えます。その教養というのは一体何かといったら、いわゆる教養科目を覚えることではなく、それらを学ぶことから人間の営みの歴史を知り、自己を確立し、批判力をつけ、自分で思考できる人に育つためのものだと考えます。自らが生きる意義を見つけ出す努力をすることが人間力をつけてく



れるのでしょうか。また、趣味というわが身の楽しみでもいわゆる教養がその味を深くしてくれ、広がりを持たせてくれます。東京歯科大学の卒業生には、それが十分教育されなくても、それが大事なんだと、それは卒業後だって読んだり見たり聞いたり触ったりして探究できるのですから。したがって、6年間カリキュラムでの教養科目の配置と授業内容はさらに討議が必要です。少なくとも教養が大事なんだってということだけは植え込んでおく必要があります。血脇先生あの「人間たれ」っていう言葉は、極めてよい言葉だなと思います。

**高橋** そうしますとこのような理念をカリキュラムに反映してゆくということになりますね。

**金子** そうです。カリキュラムの組み方はいくらでも工夫ができるわけです。1990年代の高等教育の大綱化によって昔みたいに文部科学省が1から10まで決める時代ではなくなっています。要は工夫をしなければいい教育はできないという時代になりました。私立大学は「建学の精神」をバックボーンに、多様な個性輝く魅力的な大学であることが社会から望まれています。歯学部教育においても同様でして、そこで東京歯科は強さを発揮しています。東京歯科大学が少なくとも教育の面では、非常

に先陣を切っている。しかもそれは全国大学での文部科学省の競争的プログラムにおいてこの6年間で教育において3プログラムを獲得しました。1プログラムは500~600件の応募から15%ぐらいの採択率です。このことは全国的に高い評価を得ていて、母校があらゆる学部と競争しながら勝ち取っている先駆性を同窓は誇りに思っていただけではないでしょうか。また、歯科医師国家試験対策は本来の大学教育の中に組み入れていて、予備校化した準備のなかでの合格率ではありませんのでこの面でも母校の健闘にご安心いただいています。

#### 【受験状況と水道橋移転】

**大山** 近年受験戦争の中で歯科を希望する人はかなり少なくなってきていますが、東京歯科大学は今年、かなり多い応募があったと聞いています。その中で東京歯科が応募者からどう見られたかということが、今度の移転とかなり関係してくると思うんです。そのあたりお話を伺えれば。

**金子** そうですね。これは、今の応募状況から受験生はかなり水道橋での勉学を意識していると思いますね。各歯科大学・歯学部が行っている対策は2つで、募集定員削減と学納金の減額です。特に学納金は私立17校のうち減額しなかったのはわずか3校（日歯、日大、東歯）にすぎません。そのほか様々な特典をつけて学生を集めています。これから歯科医療の質がより求められるところで、素養が適切でない学生が多数入学したとすれば、今後大きな問題が継続することになります。東京歯科大学は過日一般入学試験Ⅰ期が終了しましたが、昨年の5割増しの受験生でした。東京歯科大学の受験動機が歯科医師国家試験の高い合格率が

第1の理由であることは聞き取りで明確なのですが、それに付加されて東京での就学をあげている受験生は多かったとのこと。

**高橋** 移転ですか。

**金子** 移転です。国家試験の合格率というのは、これはもう例年、私立ではトップですから。それから全体29校の中では5位、4位、3位と、順次上げてきていますけども、いずれにしてもトップクラスですよ。ですので、その長年にわたる国家試験の実績がもちろんあります。同時に東京移転がかなりの要因になっていると思っています。昨年の受験生ガイダンスでは、実際に「必ず東京に来るのですか」と確かめられたり、「だったら行きます」とか「受けさせます」ということが多かったと報告されています。

**関** 今の学生は自分の将来のことを考え、大学の教育方針が本人の希望している方向に向いているか、とかいろいろなことを充分にサーチしています。そういう面で都心に移転するというのは受験生にとってはかなり影響すると思いますね。また、ある大学は大幅に学費を下げているのですが、東京歯科はそういうことはなさらない。

**金子** 学納金減額は本学にとっても必要な措置と考えています。しかし、移転計画が進展している過程での財務負担は避けるべきと考えますので中長期的な計画性を持った中で、対応していきたいと思います。もともとバブルのああいいう好景気、あるいは活性のある時代の時期で設定した学費ですので。低経済時代になると、過去の好景気状態のころの学費は、社会にそぐわないと私は思っています。水道橋移転での大きな課題は低経費運営ですので、全体の財務構造変革が今後強く求められます。



### 【大学と同窓】

**関** リパーク駐車場のところに新校舎ができ、そこに血脇記念ホール、それとミュージアム、歯科の博物館をつくることになっていますが、やはり同窓が望むのは、自分たちが大学に来たときに、どこか自分たちのいる場所が中にあればいいなという、同窓のサロンみたいなものですね。それができれば同窓も学内に入って、一緒に大学の雰囲気を味わえ一体化できるのではと考えますが、いかがでしょうか。

**金子** サロンですよ。これは、いや、われわれも欲しいと思っています。ですから今、第1期計画のときにはここだって明確に言えませんけれども、少なくとも2期計画にとりかかったときには、確実に設計に入りたいと考えます。また今後、臨床でも基礎実習でも外部の先生方に教育支援をお願いしますが、おいでいただいたときの部屋としても利用できるし、必要なんです。ですからこれはいろんな意味で、同窓の方の部屋というのは、これはなきや駄目と思っています。

**大山** 研究室へ残った方は、教室へ行けばいいやって事がありますが、そうでない方は本当に大学卒業しちゃうと立ち寄る場所がありませんので、是非考えていただきたいと

思います。特に東京歯科は歴史のある大学であり、いろいろな同窓があります。大学と同窓が一体化してゆることがすごく大切と感じています。

**金子** おっしゃるとおりで、東京歯科大学は同窓に立派な方が沢山いらっしゃいます。それで大学時代から卒業後までという一連のある種のサポート体制が組み立てられれば、それは東京歯科大学の強さとなります。したがって、今後は同窓と大学と一体になってそのような企画を作り実行することが大切だろうと思っています。

**高橋** ミュージアムについて、どのようなものができあがるか情報が少ないようですが、どのような構想をお持ちでしょうか。

**金子** 東京歯科大学ミュージアムは、水道橋の文化としても意義があると思います。血脇記念ホールは貸しホールでもありますので、都民の皆さんが気楽に見てくだされば歯科の広報的な役割をするだろうと思います。すべての資料を展示できませんので、ときには「東京歯科大と野口英世」とか、「血脇守之助と明治時代」など企画展示も面白いのではないのでしょうか。また、「歯科の未来像」などといった小さいけどびりっとした展示をしていけばと思っています。

### 【募 金】

**関** 募金の状況はいかがでしょう。

**金子** 学年で言うと61学年だそうですけども、件数は261件、7621万円ということです。またクラスから、それから個人からもご寄付いただいています。またご逝去された方からのご遺志による寄付もいただいております。

**大山** 目標の5億円までは遠い数字ですが、ご協力をありがたく思います。期間はまだ長くありますので多くの同窓の先生の協力をいただいて、やはり東京歯科大学の同窓だという意識をもたれて頂ければありがたいと存じます。

**金子** まさに同じ思いでありまして、大山会長とともに各地域の同窓会の集まりには積極的にお邪魔して、大学の現状を説明し水道橋移転に対し絶大のご協力をいただけるようにしてゆきたいと思っています。

**関** 同窓会としては広報誌やホームページにより情報を会員に伝え、また支部に行って話したりしていますが、会員個々と話してみますと大学の今の状況はもちろんのこと、移転することすら知らないとおっしゃる先生もいらっしゃいます。本日金子学長のお話を伺い、大学と同窓会が一体になって、もうちょっと具体的な動きをこれからはなければいけないと実感しました。執行部においても一丸になり、大学と一緒にこの大事業を成し遂げてゆきたいと考えております。

### 【終わりに】

**高橋** 本日の対談は同窓からのいろいろな疑問や意見を反映できるようにすすめてきました。金子先生におかれましてもこと細かくしかも丁寧にご説明いただいたことを深く感謝いたします。今後対談についても、いろいろなお話がとりあげられるように、内容そして出席者について工夫をして、全同窓が大学創立120周年記念事業をご理解いただき、絶大なるご協力がいただけるよう企画してゆきますので、宜しく願います。これにて本日の対談を終了させていただきます。どうもありがとうございます。

# 支部のうごき

## 神奈川県支部連合同窓会

平成22年度定時評議員会・総会・  
研修会・懇親会開催

12月5日(日)ローズホテル横浜において、平成22年度定時評議員会・定時総会・研修会ならびに懇親会が開催された。

評議員会は午後2時30分より、加藤木 健会長の挨拶の後、議長に佐久間博一評議員会会長、副議長に村山正之評議員会副会長が選出され、報告ならびに議事に入った。

各種報告の中で、本年度逝去された7名の会員のご冥福を祈り黙祷を捧げた。その後、諸議案について慎重なる審議が行われ、採決の結果、すべての議案が賛成多数で可決承認された。

定時総会は、加藤木会長の挨拶に続き、ご来賓としてお迎えした矢崎秀昭本部同窓会副会長、金子 譲学長よりご挨拶いただいた。

次に、慣例により村山評議員会副



会長が議長、佐久間博一評議員会会長が副議長として登壇され報告事項へ進んだ。諸報告、諸議案ともに順調に審議され可決承認され総会は滞りなく終了した。

続いて研修会に移り、帝京大学法学部長入澤 肇先生をお招きして「官僚構造と政治家の役割～国民の意見を届けるためにはどうすべきか～」と題してご講演いただいた。

先生は、元官僚、元政治家という経験を生かし、その視点に立って、前半は政治官僚構造の特徴についてアカデミックに解説され、「政治家



に必要なことは直感力、決断力、実行力である。これらのすべては、積み重ねた努力によって発揮される」と述べられた。後半は診療報酬体系のあり方について、「医科、歯科の格差が大きすぎる事に疑問を感じている。これは役所型の官僚の仕組みが原因であろうか。これを改善するには実態調査を行い、結果を分析して対策に望むことが必要である」と大変わかりやすくお話された。最後に「それぞれの分野で志を高く持つ精神を忘れないでほしい。それには強いリーダーシップも必要である」と結ばれた。

懇親会は午後6時30分より、矢崎同窓会副会長、金子学長をはじめ、神奈川県歯科医師会より高橋紀樹会長など多くのご来賓をお招きして開催された。ご来賓の薬師寺 仁前副学長、川口 浩衆議院議員からもご挨拶いただいた後、矢島敏夫本会相談役の乾杯の発声で開宴し、途中で、敬老祝賀会員への記念品の贈呈や新入会員紹介などがあり終始和やかな雰囲気の中、懇親の輪が広がった。

最後に、毎年恒例の全員で校歌を斉唱しお開きとなった。

(宇佐美貴弘 記)





## 横浜鶴見支部

### 鶴見東歯会忘年会

12月18日(土)午後7時より、京急線鶴見市場駅前の大衆酒席「正木屋」において15人参加のもと開催された。

コートの襟を立て、「うー寒い寒い」と冷たい手を擦りながら参加者がぞくぞくと集合。開会前から熱燗を10本注文。程良く爛された日本酒は五臓六腑に染みわたり冷えきった身体を温め、早くもほろ酔い。

開会に先立ち、去る7月4日にご逝去された石井 昭先生のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げた。

酒井真一会長の挨拶の後、テーブルに瓶ビールが並べられ乾杯の準備が整い、佐藤秀夫先生の乾杯の発声で宴会が始まった。

濃厚な味わいの自家製カラスミから始まり、中トロ、ブリ、ホタテなどの刺身盛り合わせから、特製もつ

煮、焼き物、鰻の肝などをつまみながら懇親の和が広がった。身体も十分温まり、今度は冷酒や焼酎に切り替えて一年間の憂さを晴らし大いに盛り上がった。

お腹が落ち着いたところで、お祝い金・お見舞金の贈呈が行われた。本年めでたく喜寿を迎えられた香山欣哉先生、還暦を迎えられた森田正純先生に金一封が贈られ、両先生の益々のご健勝を祈念して大きな拍手で祝福した。お見舞い金は、宇佐美雅弘先生と井澤政紀先生に。こちらにも全快を祝し大きな拍手が贈られた。

続いて恒例の会員近況報告へと移った。せっかくの忘年会。一風変わった企画をと「今年一年を振り返って漢字一文字で表してください」というテーマを掲げ、それぞれに色紙にしたためてもらった。色紙

の漢字の意味合いを中心に近況報告が行われた。「幸」、「爽」など明るい字もあれば、「怒」、「忍」など昨今の政治や経済事情に直結するような少々暗い字もある中で、今出来ることを「極」めたい。さらには「和」を大切にしていきたいという本会のモットーとも言うべき字まで飛び出し、今年を振り返ると同時に、来年はさらに良い年にしようという意気込みが伝わる報告となった。

まるで宝石のようにキラキラ輝くイクラがたっぷり乗ったご飯を平らげた後、来年還暦を迎えられる菊池誠先生により閉会の辞と一本締めが行われた。最後に、葬儀のお礼に駆け付けて下さった石井先生ご子息、石井 洋先生(横浜中央支部)も加わり全員で記念撮影をしてお開きとなった。(宇佐美貴弘 記)



## 川崎支部

### 川崎水橋会

11月3日(水)晴れの特異日といわれる文化の日、予想通り秋晴れのなか、川崎水橋会家族懇親会が行われました。

今回は、横須賀で「軍港めぐり」を楽しんだ後、三崎でまぐろ一式料理を満喫するという日帰り旅行を企画しました。川崎、武蔵小杉、溝の口の順に停車し、38名の参加者を乗せたバスは、第三京浜・横横道を経由して横須賀へ。祝日の午前中ということもあってか、あっという間に到着。横須賀軍港めぐりは、入港している艦船によって毎日風景が変わるアジアでも最大級の軍港をめぐ

クルージングツアーです。間近でみるアメリカ海軍や海上自衛隊の艦船、とりわけ2日前に帰港した原子力空母ジョージ・ワシントンの迫力に皆、目を輝かせていました。

その後、三崎の料亭「豊魚亭」へ移動し、まぐろ一式料理を満喫。見たこともないような大きいマグロのカブト焼きに満腹！さらには当日、41回目の結婚記念日を迎えられた関 暁子先生ご夫妻のお祝いのケーキが用意され、和やかな時間を過ごすことができました。食後は、三崎港産直センター「うらり」でお買い物。あれだけ食べたにもかかわらず、マグロラーメンを食べに行く者



もいたりして、思い思いの時間を過ごしました。

帰りのバスは渋滞で時間がかかってしまいましたが、いつの間にか眠ってしまった皆の顔は幸せそうで、大変楽しく、有意義な一日でした。(大塩美樹子 記)



## 茨城県支部

### 平成22年度総会，懇親会

12月11日(土)午後1時30分より水戸三の丸ホテルにて平成22年度茨城県支部「如水会」の総会，学術講演会が31名の同窓の先生の出席を得て開催されました。

初めに小鹿典雄副会長の開会の辞に続き，亡くなられた3名の先生方に対し全員で黙祷を捧げました。山口忠夫支部長の挨拶と報告事項がなされ，大学からの来賓として高野伸夫千葉病院長が大学移転の現状と入学生のお話をしていただき，同窓

会本部から昨年に続き関 泰忠先生がご挨拶をされました。司会の荒野実幹事長より新入会の小野寺博子先生の紹介がされ，続いて会務報告，県報告，国保関係，連盟関係の報告と，会計報告がされ，議事の審議が円滑に協議されすべての案件が承認されました。

今年度の学術講演は東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座主任教授・佐藤 亨先生にお願いしました。演題は「歯科補綴における歯科審美への対応—形態と色彩から—」

で講演されました。時間が短くなってしまい急いで講演していただきましたが内容の濃いしかも明日から役立つお話をしていただきました。

記念撮影後場所を移動し，懇親会を大峰秀樹副会長司会にて予定の時間まで和気あいあいと大いに飲んで楽しい時間を過ごし最後に TDC 校歌を合唱して幕となりました。また来年度は役員が改選となり，新支部長に小鹿典雄先生が総会で皆様に承認されたことをご報告いたします。

(沼田裕之 記)



## 栃木県支部

### 平成22年度総会および学術講演会

東京歯科大学同窓会栃木県支部平成22年度定時総会が，平成22年12月5日に宇都宮市のホテルニューイタヤにて開催されました。藤森 洋常任幹事司会のもと，井上清志副支部長の開会の言葉に続き，菊地善郎支

部長の挨拶を頂きました。ご来賓の東京歯科大学同窓会会長大山萬夫先生からもご挨拶を頂きました。また，東京歯科大学副学長井出吉信先生方からは，大学の現況等のご説明を頂きました。

各種報告および質疑応答の後，総



会は築瀬 真副支部長の閉会の言葉をもって、無事終了しました。

記念講演は藤森先生の司会のもと、早稲田大学教育学部教授・原 克先生による「すべては流線型になる—20世紀『科学神話』の誕生」と題する講演を頂きました。

20世紀前半に工業デザインとして一世を風靡した流線型 (stream line) とはどのようなものなのか。そして、デザインや造形といった本来物理学用語の意味から発展し、過去にアメリカの社会に見られた、当時無駄とされていたことを削ぎ落とすこと、さらには「理想の体型」神話やダイエット思想、ドイツでの近代主義批判を介してナチスの国家主義幻想などの流線型イメージの変遷のメカニズムを明らかにし、それぞれの社会がいかなる流線型イメージの神話圏を作り上げたかを考察す



るといった、主題と副題からも想像できるように非常に幅広く奥の深い内容でしたが、現役の学生を引退して久しい我々にも十分に浸透すべく言葉を選んで頂いての講演でした。

記念講演の後、坂入道子常任幹事司会による懇親会へと移り、天沼隆副支部長の閉会の挨拶に始まり、ご多忙の中お越しいただいた栃木県

歯科医師会会長柴田 勝先生にお祝辞を頂きました。

会の最後には、ここ数年恒例となっている平成卒業者によって結成された平成ゴスペロール隊の校歌斉唱があり、坂入先生の閉会の挨拶をもって全日程を終了いたしました。

(齋藤哲一 記)

## 千葉県支部

平成22年度定時総会および学術講演会

記録的な猛暑だった今年の夏。ようやく訪れた秋も終わり、一年の締めくくりの12月に入った最初の日曜日の5日に、千葉市の京成ホテル・ミラマーレにて、67名の出席者のもと平成22年度千葉県同窓会定時総会が開催されました。

総会に先立ち午後2時30分より学術講演会が行われ、講師として東京歯科大学オーラルメディスン・口腔外科学教授の山根源之先生をお迎えしました。演題は「日々の臨床から—千葉県同窓会の皆様へ—」で、東京歯科大学市川総合病院の外来患者のスライドを中心に、口腔癌やHIV感染者等我々が日常臨床において遭遇し得る症例の鑑別や対処法などについて講演が行われました。



曾我部 勉本会会長

続いて総会に入りました。来賓として、東京歯科大学同窓会専務理事の高橋義一先生、東京歯科大学理事長の熱田俊之助先生、東京歯科大学水道橋病院長の一戸達也先生、学術講演会を行っていただいた山根源之先生、県歯会長の浅野薫之先生をお招き致しました。

千葉県同窓会会長の曾我部 勉先生の挨拶に引き続き来賓の先生方か

写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。



懇親会で挨拶する浅野薫之県歯会長



講師の山根源之教授

らご挨拶をいただきました。

その後議長・副議長が選出され、

会務報告他各報告、新入会員の紹介が行われました。議事に入り各種会計の決算、予算案、事業計画案、三支部統合の承認を認める件がつつがなく承認されました。続いて、当会の会則並びに共済規定の見直しに関

して協議が行われました。また、現県歯会長の浅野薫之先生が、2期目への会長立候補を表明され、全会一致で当会を挙げて全面的に支援していく事が決定されました。

その後の懇親会でも浅野先生のお

話があり、県歯会長立候補への熱い思いが感じられました。各テーブルでも支援に対しての話がされ、来年度へ向け一致団結し大いに盛り上がりのある会となりました。

(大内健二 記)

## 京 橋 支 部

平成22年12月3日(金)同窓会京橋支部(水京会)の総会・忘年会が銀座「鳳鳴春」にて22名の参加者で開催されました。総会は池田弥和総務(S60年卒)の司会進行により、開会の辞、臼井文規支部長(S55年卒)の挨拶から始まり、長井正行議長(S35年卒)のもと各担当幹事より平成22年度の各種報告がなされました。報告後議事に移り、滞りなく各議案は可決確定されました。総会の後は皆待ちに待った忘年会が催され、森川志朗先生(S46年卒)の乾杯のご発声により一気に盛り上がりました。京橋支部は大山萬夫同窓会長のおひざ元であり、出席された大山同窓会長から同窓会および、大学の水道橋への移転の現況をお話いただきました。特に同窓会員としての寄付への心構えなどでは皆真剣に聞き入る場面もありました。また待望の新入会員・田中祥行先生(H6年卒)

の入会があり、紹介がされました。本年は京橋歯科医師会としても創立90周年記念行事や法人化の準備等で、多忙を極めた一年となった片山隆京橋歯科医師会副会長(S54年卒)、小筆正弘京橋歯科医師会専務

理事(S60年卒)からもお話を頂きました。宴もたけなわとなり名残も惜しいところですが最後に吉田浩一副支部長(S58年卒)の挨拶でお開きとなりました。(大山貴司 記)



## 新 宿 支 部

東京都新宿区には、現在、三つの同窓会支部があります。戦前の東京市時代の地区割りで、淀橋支部(今は新宿支部になっています)、四谷支部、牛込支部に分かれています。

平成22年の暮の忘年会を合同で開催し、本部同窓会の方針に沿って、

新宿区は一つの支部になろうとの気運が高まっています。これからは、より実のある会合を持つことが出来るでしょう。

また、昭和29年卒(二期会)の故熊倉正治先生は、30年にわたり、毎年会員旅行を企画され、ご自身がツ

アー・コンダクターを勤めて下さいました。

場所の設定には、年に数回、奥様とご一緒に現地を訪ね、その中で最も感銘を受けた所を決めるというご努力を払っていただきました。

その他、同窓生の皆様の色々な思

い出を集めた「東京歯科大学同窓会  
新宿支部写真集」を平成22年夏に自  
費自版しました。私の660冊あるア  
ルバムの中から1枚を抽出しまし  
た。 (足代弘文 記)



平成10年10月（1998）蓼科 白駒池散策 グリーンバレーパルホテル泊  
私が支部長をしていた2期4年の中で一番面白かった旅でした。



## 東 信 支 部

信州に本格的な冬の訪れを感じさ  
せた平成22年12月4日（土）午後4時  
より、上田「ささや」にて東京歯科  
大学東信支部同窓会総会・講演会な  
らびに懇親会が開催された。開会の  
辞に続いて、佐藤秀道支部長によ  
り、2年間の任期中、会務が支障な  
く執り行えたことに感謝の意を表す  
る挨拶があった。引き続いて報告に  
移り、担当役員より今年度事業報  
告・会計報告ならびに会計監査報告  
が行われた。また前日に行われた同  
窓会評議員会・定時総会について  
佐藤支部長より、水道橋移転の現況  
等についての説明があった。続いて  
議事では来年度事業計画や予算案が  
上程され、執行部の原案通り可決承

認された。また、任期満了による役  
員改正が行われ、次期東信支部長に  
土屋栄良先生が推薦され、全会一致  
で承認し次期支部長をお願いするこ  
とになった。

総会終了後、例年であれば学術講  
演会を行うところを今年は趣向を変  
え、真打「瀧川鯉昇」師匠をお迎え  
しての落語鑑賞と相成った。鯉昇師  
匠のプロフィール等は(<http://>



www.6ocn.ne.jp/~risho/)を参照していただくとして、さて一席。時事問題を盛り込んだ、思わずクスッと笑ってしまうマクラに続き、いよいよ本編は「二番煎じ」。噺の内容をここに書くのは野暮というものだが、噺の途中で無性に日本酒と鍋が恋しくなったのは私だけではなかっただろう。すっかり鯉昇師匠の噺に

引き込まれた、あつという間の1時間でした。

記念撮影後、鯉昇師匠を囲んでの懇親会となった。落語を趣味とし、ご自身でも高座に上がるほどの今井芳明先生から専門的な質問がされたりと、終始和やかに時間が過ぎていった。師匠の暖かい人柄を改めて感じ入り、今後のご活躍を祈念して土屋



潔先生の万歳三唱で盛会のうちにお開きとなった。(松原 茂 記)

## 島根県支部

平成22年12月4日(土)、5日(日)、島根県歯科医師会館にて同窓会本部より宮地建夫先生、講師に清水病院口腔外科の井川雅子先生(S59卒)をお迎えして平成22年度総会と学術講演会が行なわれました。学術講演は1日目『歯科医に必要な口腔顔面痛の知識』、2日目『口腔内特発性疼痛の診断と治療』と題して2日間にわたり講演をしていただきました。島根県支部では、東歯の優秀な

講師の講演を同窓だけでなく同窓以外の先生方にも聞いてもらいたいという思いで、数年前より県歯の会員の先生方に案内をしており、今回の講演も2日間で延べ130名(県外3名、DH30名を含む)の受講者となり、大変盛況な講演会となりました。

支部総会は、高木支部長の挨拶から始まり、会務報告等が行なわれ、宮地先生から同窓会の現状や校舎の移転問題などについて報告がありま

した。また、地域代表理事の山根康雄先生より同窓会本部の同窓会改革について①評議員のありかた②地域連合の取り組み③若手の育成などについて説明がありました。最後に平成23年6月25日(土)に中国地区連合会総会が島根県松江市で行なわれますが支部会員が一致団結して良い大会にして他県の先生方をお迎えしましょうと締めくくって総会を終了しました。記念撮影の後、場所を『大



橋館』に移して懇親会が行なわれました。2次会は大橋川沿いの店でワ

ィングラスを傾けながら夜遅くまで大いに盛り上がりました。

(青戸弘陽 記)

## 鹿児島県支部

まだ暖かい、平成22年11月13日(土)、14日(日)鹿児島県支部忘年会旅行が、嘗て、日本のハワイと言われ、新婚旅行のメッカであった南薩摩の地に立つ高級ホテル指宿白水館で開催された。当初、10人程度とされていた参加数も18人の参加となった。当日は曇りがちの天候であったが、各自、午後5時には到着し、宴会までの間、温泉にのんびり浸り、日頃の疲れを癒した。泊った部屋は、このホテルの中でも最高級の建物、離宮の最上階4部屋で、各部屋に白水館の91才の会長さんより、フルーツの盛り合わせに、東京歯科大同窓会への感謝のメッセージが添えられていた。これは偏に内田信友支部長の人脈の広さのお蔭である。宴会は、支部長挨拶の後、萩原朗会員の品の良い、にこやかな乾杯の発声で始まった。料理も焼酎も実に美味しい!!何十畳あるかと思わ



れる和風の豪華な部屋に18人では、広過ぎる感があったが、そこは、どっこい!!薩摩隼人!!宴酣となると、先輩、後輩なく、東菌の同窓として、酒宴の輪が彼方此方でき、その輪の再編が幾度もあり、時間の過ぎ去るのを忘れ、ついにタイムオーバー!!漸く、まっ赤な楽しそうな笑顔の篠原壽宏会員のお開きの弁となった。が、静かに部屋へ帰る輩ではなく、役員の本屋に、重久清孝会員らの持参した森伊蔵、三岳等を持ち込み、部屋主達の迷惑を省りみず、夜中まで飲み、部屋へ帰る時は、残り少ない焼酎までも持って

行った。

近年感じる事であるが、若手の会員が居ない事である。ここにも高齢化の波が忍び寄っている。

出席者(卒)

萩原 朗(S30)、篠原壽宏(S34)、中村逸朗(S35)、下野久夫(S36)、内山太一郎(S44)、橋口哲彦(S48)、内田信友(S49)、上村 光・西 孝一(S50)、森原和久(S51)、山崎 学・重久清孝(S52)、鬼丸高久・米良豊常(S55)、長田 博(S57)、上野 修(S58)、下津昭洋(H4)、田松裕一(H6院)

(鬼丸高久 記)



紙面の都合により一部順序を入れ替えております



## 新宿って？

新宿区は、東京35区の時代（1932～1947）の四谷、牛込、淀橋の3区が昭和22年に合併してできた区です。その名残りで現在新宿区には、歯科医師会が三つあります（平成23年度中に四谷、牛込歯科医師会が合併の予定）。故に東京歯科大学同窓会支部も三つあります。ですが四谷、牛込歯科医師会の合併にともない支部も近い将来3支部の統合を目指す事となりました。原稿は新宿支部に依頼されましたが内容は四谷、牛込をも含んだ新宿全体の紹介になります。新宿区は23区のほぼ中央に位置します。平成3年より都庁は新宿にある事は皆さんよくご存知の事と思います。かつての35区が22区（後に23区）になった昭和22年に発足しました。古くは甲州街道の通り道として栄えた新宿地区は日本一の大繁華街が形成されており新宿駅は鉄道各路線のターミナル駅として日本一の乗降客数を誇っています。北部の落合地区は日本でも有数の高級住宅地として有名です。旧牛込区である東部は空襲被害が比較的軽かった為古くからのコミュニティが続いています。（四谷地区と共に江戸時代の武家屋敷に由来する町名がたくさん

## 新宿区

残っています）。又、南部は、新宿御苑、明治神宮があり緑が豊富です。この他、早稲田大学、東京理科大学等、大学、学校が多数あります。医療関係では慶應義塾大学、東京医科大学、東京女子医科大学等の大学病院、国立国際医療センター、厚生年金病院、（助）東京都保健医療公社大久保病院、社会保険中央病院等の大病院が7つもあります。そして新宿区は都内でも最も外国人登録者が多い区でもあります。特に新大久保周辺のコリアンタウンは韓流ブームもあり全国的に有名となりました。又、防衛省は新宿にあります。この様に商業地と住宅地、歴史ある地区と再開発地域、多国籍といった、まさに大都市の光景を縮図にした性格を新宿区はもっています。意外な所では、新宿区は文学者にゆかりの地なのです。江戸時代から明治



時代に生まれた文学者に限っても217名もの人達が新宿区に在住しています。有名な人をあげてみると芥川龍之介、有島武郎、江戸川乱歩、北原白秋、小泉八雲、夏目漱石、林芙美子、斎藤茂吉、佐藤春夫、平林たい子等です。まだまだ沢山の文学者達が新宿に在住していました。新宿は文化的な所でもあります。史跡もありますので一度たずねてみたらいかがでしょうか。新宿という地域の理解に役立つ事ができれば幸いです。（昭和50年卒 古屋 忠）



新宿区立 林 芙美子記念館

# クラス会だより

## 十 期 会

昭和37年卒

平成22年10月10日十期会の総会・懇親会が行われました。前夜相当量の雨が降り、朝から予定している東京観光（東京で開催するのは本当に久しぶりでした）が危ぶまれましたが早朝から雨も上がり参加者全員（会員31名同伴5名）意気揚々と集合場所の東京駅丸の内北口に集合致しました。

中には何十年ぶりの東京と云う会員も居るとの事で東京の新しい顔を見て頂く為に常任幹事一同知恵を絞ってコースを考えました。

東京駅から観光バスに乗りし～皇居前広場・二重橋～六本木ヒルズ～東京ミッドタウンを車窓見学し～新宿に有る東京都庁展望台上り新しい東京の360度の展望を堪能しました。この頃になると空を覆っていた雲もすっかり取れ青空が覗く様になりました。

この後バスは首都高速道路に乗り浅草に向かい、途中完成すれば世界一高くなるテレビ塔「スカイツリー」を脳裏に刻んでおきました。確かその時点で高さ500M だったと思います。

昼食は雷門脇の有名な葵丸新で、てんぷら料理を堪能し、デザートに梅津君が差し入れてくれた「ずんだ饅頭」を堪能しました。

食後はしばし仲見世を散策、浅草寺をお参りし、徒歩で隅田川に向かい水上バスで隅田川を遊覧し川を下り芝浦の日の出桟橋に向かい着岸しました。

そこから再度バスでレインボーブリッジを渡りお台場の海浜公園を散策し記念撮影を行い丁度迫った日没の風景を鑑賞致しました。

お台場を後にしてバスは総会会場の丸の内にある外人記者クラブ（会

長の山内君が会員になっているので予約出来ました）に向かいます。

18時より総会開始（会員43名同伴8名）。皆葉君が議長に推され庶務報告、ならびに次回の開催について協議が行われ次回は東京幹事が担当しその内容に関しては今後アンケート調査を行いそれに基づいて開催内容を決定する事が決議されました。

その結果を基に東京幹事で協議し開催内容を決定致します。内容に関しては今後同窓会報にて発表する予定です。

なお総会後の懇親会では外人記者クラブ名物のステーキ・ディナー（200g）を堪能し和気あいの懇親の中またたく間に時間が来てしまいました。お互い別れを惜しみつつ、次回の再会を期して21時閉会致しました。（中村靖夫 記）

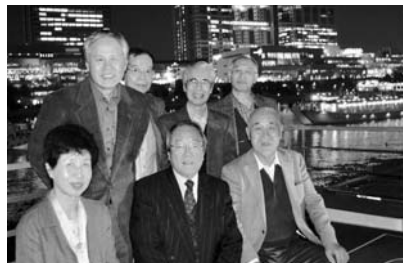


# 踏 志 会

昭和41年卒

踏志会の皆さん、ご健勝のことと存じます。第45回踏志会は、家族を含めて48名の参加で開催されました。一昨年に続いて、副主任であられた江崎先生にもご出席を頂きました。昔とちっとも変わらず飲んで、食べて、先生の若さには一同圧倒されました。今回は前泊者が4組あり、金曜日の夜から青木君の地元神楽坂で大いに盛り上がり、私は久し振りに二日酔いになってしまいました。翌13日、奥様方は歌舞伎観劇、級友達は下町を散策。スカイツリー見物で首が痛くなったり、話に花が咲き乱れたりとのことでした。

午後3時30分から東京ドームホテルロビーで受付開始。まずは手を上げて『久し振り』が最初の言葉。会費を払っているうちに、すっかり学生時代に戻っています。級友とは不思議なもの。その後ドームホテルで記念写真を撮り、揃って浅草橋へ移動。「三浦屋」さんの屋形船に乗



船。予想外の大型船で（乗客定員98名）、さらに掘り炬燵式のお座敷に一同感激。また、この屋形船から眺める東京の夜景、特に360度の展望が得られる甲板からの夜景は素晴らしく、大変な人気でした。

総会は、目の前に沢山のご馳走が出されているので、慎重に且つ手早く審議し、議題は全て予定通り可決されました。総会冒頭、上竹会長の挨拶の中で、昨年末から今年にかけて、残念ながら稲川英史君、横田正己君、今仲浩二君、田中秀穂君、紺野虔一君、笠原保君、山口忠臣君、7名のクラスメートが亡くなられたことが報告され、全員で黙祷をして



謹んでご冥福をお祈り致しました。

続いて懇親会に移り、乾杯は次回踏志会開催幹事野坂君の発声で杯を挙げ、準備よろしく来年10月15、16日に安比高原で開催、ゴルフ、観光も予約しているとの報告がなされました。野坂君御夫婦に感謝。

さて、二次会はドームホテルで、三次会は神楽坂でと、年を重ねるに従って酒量も増える（?）、話題も豊富、楽しく飲んで歌って、日付も変わってようやくお開き。Good nightとなりました。14日、朝食後、来年「安比」での再会を約束し、三々五々家路に着きました。

(柴山謹一郎 記)



# 八 実 会

昭和53年卒

**総会、薬師寺先生副学長退任、井上先生大学院研究科長就任のお祝**

一昨年福岡で卒業30周年記念の会を開催して以来、2年振りの「八実会」を11月13日(土)水道橋「東京ドームホテル」で開催致しました。

臼田 準君の司会で始まり、先ず総会では前回の総会以降まだまだ若くして逝去された、米澤、松本、築瀬、3名の級友に対して黙祷を捧げ、相田孝彦君からは30周年記念会の報告がなされました。

議事では次期会長に大井誠一君を指名し、又今後逼迫し始めた会費を徴収することも全会一致で決定致しました。総会もスムーズに終了し、この日のメインである祝賀会に。

私たちの元学年副主任であり、副学長でした薬師寺 仁先生が6月末で大役の任を解かれ、めでたく母校を退官されました。又級友であり、母校臨床検査学教授の井上 孝先生

は7月より大学院歯学研究科長に就任されましたので、今回のダブル祝賀会と相成りました。

井上先生はこの日母校の推薦入試が行なわれたため、少し遅れての出席でしたが、祝賀会には元副主任の伊藤彰人先生（現在千葉県野田市、野田病院歯科）にもお忙しい中お祝いに駆けつけて頂き、乾杯のご発声をいただきました。また櫻井正治君、鈴木千枝子さんからは、学生時代や医局時代の両先生のエピソード・思い出話が披露され、知られざる一面に出席者の笑いを誘っていました。

両先生への記念品贈呈後、薬師寺先生からは「公職としてあと2年残っている歯科医師国家試験の試験問題評価委員を全うする一方、現在水道橋病院の臨床教授として診療に携わっているので今後も生涯現役歯科医として頑張る」と、力強く述べられ、又井上先生は大学院研究科の



概要を説明し、「今後日本の歯科界を担う研究者として世界へ輩出されるような大学院生が育つ研究環境にしたい」との抱負や祝賀会へのお礼を述べられました。

出席者一同お二人の今後益々のご健勝とご活躍を期待し、上田祥士君の閉会の辞で和やかに「八実会」はお開きとなりました。その後会場を移しての二次会となりましたが、今回出席していただいた皆さんには厚くお礼申し上げます。(永江健一 記)



写真が同窓会ホームページ《<http://www.tdc-alumni.jp>》に掲載されています。



# OB会・グループ・サークルだより

## 自動車部 OB会

### 第11回「轍会」静岡ミーティング

自動車部 OB会では、毎年各地で轍会ミーティングを開催しております。今年は第11回目として10月9日、静岡県静岡市の山奥にある梅ヶ島地区の温泉・スポーツ施設、宿泊ロッジを備えた金山温泉にて開催しました。集合に当たってはさすがに自動車部 OB、車での参加が多く、とくに67歳を筆頭に3名の熟年？から20歳を含む現役4名の7名4台は、延べ200キロのツーリングを楽しみました。コースは7時に東名中井PAに集合し、大井松田ICから足柄峠、明神峠、三国峠、山中湖を経て忍野八海の観光をしました。その頃には小雨模様の空が本格的降雨となり走行も困難になってきました。そこでスケジュールを修正し西湖を経て富士宮でB級グルメ2年連

続チャンピオンの焼きそば屋「うるおいてい」で昼食タイムをとる。やはり絶品だった。その後桜峠、安部峠、を経て梅ヶ島金山温泉で16時別行動隊と合流しました。

最年長の臼井久雄先生（40年卒）を始めとするOB7名、現役自動車部員5名の計12名が用意された一戸建ての田舎風ロッジに集合し、交歓会は穏やかな雰囲気の中進行していききました。

今回のミーティングは親睦、交流を目的とした為、各参加者の紹介の後、あいにくの雨の中でしたが、天然温泉を堪能。夕食は付属のバーベキューハウスにて一同が用意された幹事自ら釣ってきたヤマメの塩焼き、イワナの骨酒、山キノコ、鹿肉などを始めとした山川の珍味を味わ

いながら楽しく会話も弾み、心身ともに満足しました。

夕食後ロッジでも、囲炉裏の炭火を囲み、夜遅くまで話の花が咲き、OB、現役メンバーが一つ屋根の下で大部屋に布団を並べ、まるで学生時代の「市川での合宿」を彷彿させる雰囲気の中満足して眠りにつきました。

翌朝は山の澄んだ空気の中、朝食を済ませ、各自またの再会を約束し散会。静岡の自然を全身で楽しみ、日頃の疲れも取れた充実したミーティングでした。

参加メンバー（臼井先生、浦井先生、橋本先生、実成先生、山田先生、林先生、幹事・大石、現役メンバー5名）

（昭和45年卒 大石昭二 記）



## 管弦楽部 OB 会

### 管弦楽団第33回定期演奏会参加

穏やかな陽光に恵まれた平成23年11月21日(日)、千葉校舎講堂にて東京歯科大学管弦楽団第33回定期演奏会が開催されました。学生部員とともに演奏に参加した管弦楽部 OB 会員のみならず、聴衆としても多くの本学 OB・OG にご参集いただきました。

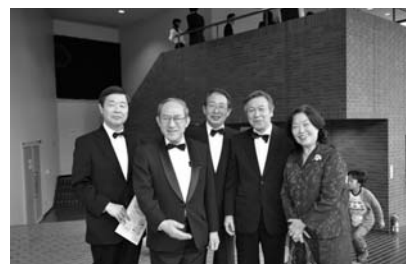
プログラムはモーツァルト作曲の歌劇「フィガロの結婚」序曲、ブルッフ作曲のバイオリン協奏曲第一番(独奏:岩田慶子)、ベートーヴェン作曲の交響曲第5番「運命」の3曲(指揮:直井大輔)で、いずれも名にし負う名曲ばかり。今回の来場者は三百数十名と、駅前チラシ配布を始め現役部員達の地道な広報・宣伝活動とも相まって、千葉校舎講堂での定期演奏会が始まって以来、最高数のお客様をお迎えしての開演となりました。

出演の OB 会員は昭和28年卒(一期会)の多胡 彬 OB 会名誉会長

から平成22年卒の研修医までの23名。50数余年の OB 歴の違いはあれど、お客様を前に音楽を奏でる喜びを、学生達と共有できたと思います。

快活・颯爽とした演奏で喝采を浴びたオープニング「フィガロ」に引き続き、実力と美貌の新星、岩田慶子さんと共演の協奏曲も、清冽なバイオリン独奏にオーケストラが力強く応え、聴衆を大いに魅了しました。休憩後、メイン曲「運命」の主題が一条乱れず(誇張ではなく)鳴り響き、「苦悩」から「歓喜」の終結まで緊張感のある演奏でプログラムを終えました。鳴り止まぬ拍手にお応えしたアンコールを含め、お客様に楽しんでいただけたと思います。

演奏会后、厚生棟食堂において懇親会が行われました。演奏会の成功を犒い、OB 会から指揮者、独奏者、学生それぞれに金一封をお贈りしました。散会後は世代毎に二次会



に移行、それぞれに盛り上がったとのことでした。

演奏参加 OB・OG は以下の通りです。バイオリン:多胡 彬, 矢崎洋子, 川口 充, 齋藤裕香, 東條倫子。ピアノ:鏡 宣昭, 岡崎 真, 酒寄孝治。チェロ:和光 衛, 宮田麻未。フルート:伊藤彰人, 増岡郁子。クラリネット:水野剛志, 林郁恵。ファゴット:板垣光信, 矢崎宣利。ホルン:野津秀郎, 下島隆志。トランペット:鈴木祥夫, 神尾崇, 大串圭太。トロンボーン:加藤広之, 勢島 典

(昭和57年卒 加藤広之 記)



# 庶務日誌

- 1月
- 1) 理事会  
1月15日(土) 第1回理事会
- 2) 委員会  
1月6日(木) 事業推進部(学術委員会・フォーラム講師との打合せ)  
11日(火) 事業推進部(学術委員会・フォーラム講師との打合せ)  
12日(水) 会長副会長連絡会  
12日(水) 広報部(会報委員会)  
12日(水) 事業推進部(学術委員会・プログラム委員会)  
13日(木) 事業推進部(学術委員会・プログラム委員会)  
14日(金) 事業推進部(大学・同窓連携委員会・インプラントセミナー講師打合せ)  
14日(金) 渉外部委員会  
18日(火) 広報部(ホームページ委員会)  
18日(火) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
20日(木) 総務関係打合せ  
21日(金) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
24日(月) 事業推進部(学術委員会・企画委員会)  
25日(火) 事業推進部(全体委員会)  
26日(水) 事業推進部(若手研修委員会)  
28日(金) 母校創立120周年記念事業水道橋移転に伴う募金に関する検討会
- 3) 出張  
1月7日(金) 千代田支部新年会 大山会長出席  
15日(土) 東京地域支部連合会新年交歓会 大山会長出席  
21日(金) 芝支部総会・新年懇親会 大山会長出席  
22日(土) 杉並支部新年会 大山会長出席  
28日(金) 浅草・下谷支部合同新年会 大山会長出席  
30日(日) 埼玉県支部新年会 大山会長出席  
30日(日) 平成22年度愛知県支部総会 梅村副会長出席
- 4) 事業  
1月17日(月) 第58回全国歯科大学同窓・校友会懇話会準備会
- 2月
- 1) 理事会  
2月16日(水) 第1回常任理事会
- 2) 委員会  
2月1日(火) 会長副会長連絡会  
3日(木) 事業推進部(学術委員会・歯科学報座談会打合せ)  
4日(金) 事業推進部(保険委員会)  
4日(金) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
7日(月) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
9日(水) 広報部(会報委員会)  
14日(月) 事業推進部(学術委員会・将来像検討B委員会)  
15日(火) 事業推進部(学術委員会・プログラム委員会)  
17日(木) 広報部(ホームページ委員会)  
19日(土) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
21日(月) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
22日(火) 事業推進部(学術委員会・運営委員会)  
23日(水) 事業推進部(若手研修委員会)  
25日(金) 広報部(会報委員会 HP委員会・正副委員長会議)  
28日(月) 事業推進部(学術委員会・企画委員会)
- 3) 出張  
2月6日(日) 東海地域支部連合会支部長会 梅村副会長出席  
6日(日) 滋賀県支部総会 学術講演会 講師・一戸達也教授(母校)  
11日(金・祝) 東京医科歯科大学歯科同窓会創立80周年記念式典・講演・祝宴 大山会長出席  
19日(土) 北多摩支部総会・懇親会 大山会長出席  
20日(日) 三重県支部総会 梅村副会長出席 学術講演会 講師・花岡洋一准教授(母校)
- 4) 事業  
2月10日(木) 第58回全国歯科大学同窓・校友会懇話会準備会  
20日(日) TDC 卒後研修セミナー〔東京歯科大学同窓会フォーラム(「国民に最良の歯科医療を提供するために」～日本人の健康感と日本型歯科医療制度を探る～)〕  
24日(木) 第58回全国歯科大学同窓・校友会懇話会準備会

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 25 卒	村上 雅 (83歳)	22. 10. 10
室蘭支部	〒052-0025 伊達市網代町35	
●昭 23 卒	丸川 萬吉郎 (84歳)	22. 11. 25
兵庫県支部	〒662-0015 西宮市甲陽園本庄町8-20	
●昭 19. 9 卒	栗原 恒夫 (87歳)	22. 12. 1
静岡県支部	〒411-0858 三島市中央町1-31	
●昭 57 卒	森本 光明 (54歳)	22. 12. 2
大学支部	〒271-0087 松戸市三矢小台2-16-2	
●平 3 卒	渡辺 一 (45歳)	22. 12. 2
墨田支部	〒130-0022 墨田区江東橋4-24-9-1106	
●昭 24 卒	西尾 宏英 (84歳)	22. 12. 6
豊島支部	〒175-0082 板橋区高島平3-11-1-610	
●昭 47 卒	近藤 忠雄 (66歳)	22. 11. 13
芝支部	〒145-0071 大田区田園調布1-62-16	
●昭 15 卒	守 仁郎 (95歳)	22. 11. 27
荏原支部	〒142-0064 品川区旗の台6-27-1	
●昭 19. 9 卒	金子 義泰 (86歳)	22. 12. 12
西多摩支部	〒205-0023 羽村市神明台2-11-2	
●昭 16. 12 卒	栗田 稔 (89歳)	22. 12. 7
静岡県支部	〒410-0862 沼津市幸町4	
●昭 27 卒	富田 功 (81歳)	22. 12. 17
新潟県支部	〒959-2021 阿賀野市中央町1-5-1	
●昭 18. 9 卒	三原 寿夫 (87歳)	22. 12. 19
群馬県支部	〒370-3607 北群馬郡吉岡町小倉447	
●推薦会員	呉 溪順 (100歳)	22. 12. 16
沖縄県支部	台湾嘉義市西区光彩街562	
●昭 25 卒	鈴木 宇 (87歳)	22. 12. 13
蒲田支部	〒236-0052 横浜市金沢区富岡西4-79-9	
●昭 27 卒	新橋 隆幸 (81歳)	22. 12. 25
千葉県支部	〒286-0028 成田市幸町476	
●昭 24 卒	新井 誠司 (83歳)	22. 12. 22
埼玉県支部	〒347-0066 加須市本町7-22	
●昭 14 卒	金子 裕 (93歳)	22. 12. 21
愛知県支部	〒457-0805 名古屋市南区三吉町2-40	
●昭 16. 12 卒	松浦 誠一 (92歳)	23. 1. 3
茨城県支部	〒319-1702 北茨城市大津町西町1350	
●昭 13 卒	松崎 強 (95歳)	22. 12. 29
杉並支部	〒167-0051 杉並区荻窪5-15-16	
●昭 19. 9 卒	河本 實 (87歳)	22. 12. 28
和歌山県支部	〒641-0052 和歌山市東高松1-3-38	
●昭 16 卒	林 幹夫 (91歳)	22. 1. 6
兵庫県支部	〒651-0056 神戸市中央区熊内町5-8-20	
●昭 25 卒	千野 忍 (83歳)	23. 1. 19
北多摩支部	〒184-0011 小金井市東町4-8-17	
●昭 16 卒	井田 實 (91歳)	23. 1. 19
群馬県支部	〒371-0024 前橋市表町2-28-20	



- 昭 24 卒 香 川 亘 (83歳) 23. 1. 20  
墨田支部 〒131-0043 墨田区立花2-5-7
- 昭 22 卒 稲 葉 和 輝 (85歳) 23. 1. 15  
川崎支部 〒214-0021 川崎市多摩区宿河原3-1-3
- 昭 42 卒 田能村 宣 久 (69歳) 23. 1. 23  
埼玉県支部 〒340-0041 草加市松原1-1-6-704
- 昭 43 卒 井 上 好 平 (67歳) 23. 1. 24  
愛知県支部 〒479-0836 常滑市大野町8-125
- 昭 26 卒 板 倉 八重子 (81歳) 23. 1. 4  
千葉県支部 〒264-0023 千葉市若葉区貝塚町1312-9
- 昭 23 卒 沖 義 郎 (84歳) 23. 1. 27  
高知県支部 〒781-0240 高知市横浜155-1-802
- 昭 9 卒 永 田 穰 (98歳) 23. 1. 28  
兵庫県支部 〒603-8103 京都市北区小山北玄以町38
- 昭 22 卒 五 味 武 一 (84歳) 23. 1. 29  
秋田県支部 〒015-0076 由利本荘市花畑町3-16
- 昭 28 卒 相 田 英 孝 (81歳) 23. 1. 29  
北多摩支部 〒202-0014 西東京市富士町4-5-16
- 昭 12 卒 山 本 敏 彦 (96歳) 23. 2. 7  
島根県支部 〒693-0032 出雲市下古志町773-3

学友牧 完充君逝く



去る11月11日学友牧 完充君(83才)が他界された。昭和23年から62年間の親交があった。

君は昔から寡黙な人で、どちらかと言うと人付合

は悪い人でした。何にしる東歯予科へ入学する前に、電気関係の専門学校へ通っていたそうで、彼の趣味はラジオやオーディオの部品を集めて自分で組み立て、音を作ることでした。秋葉原の商店街に行ったら1日でも2日でも歩き廻り、気に入った真空管があれば何とか入手して自

嶺驥会 (昭和30年卒)

室の装置に取り付け、音を作り出し喜んでいた。そんな君が卒業後55年間働いて二人の息子を立派な歯科医師に育てあげた。

永い間ご苦労様。あとは天国で好きな装置を心置きなく手掛けて下さい。

合掌  
(石井俊男 記)

山脇正臣君を悼む



山脇正臣君が亡くなった。東歯大18期生(1970年卒)の山脇君は不運にも10年前より病

気療養中であったが、去年11月9日に氏を支え続け看護された雅香夫人やご家族に見守られながら召天された。享年66歳

だった。山脇君の学生時代は自動車部で、あの市川のグランド隅のガレージで車の下にすべり込み、油にまみれた真黒な笑顔を思い出す。

卒業後は暫く航空自衛隊に勤務していたが、倉敷市八王子の尊父の医院に帰ってからは、その温厚で誠実な人柄ゆえに患者の信頼も厚く、氏の本領発揮となった。医院経営の傍ら、医学部に通っての研究、倉敷市

ひとは会 (昭和45年卒)

歯科医師会長やロータリークラブの会長を務める傍ら、様々な団体の世話や社会奉仕と、正に八面六臂の活躍だった。

山脇君は医政にも熱心で慧眼と言うべきか、かつて青年歯科医師の集會に出席した橋本龍太郎氏(当時政務次官)に向って「先生はやがて厚生大臣、そして総理大臣となられる人ですから…」と堂々と言っ

け、我々を嘖然とさせたが、後年まったくその通りとなった。

山脇君を偲ぶ時、あの良い声で朗々と歌う姿が目には浮ぶ。「守るも攻むるも鋼鉄の…浮べるその城日の本の皇国の四方を守るべし…」この詞の様に氏は常々祖国防衛と愛国を

熱く説き、好んだ言葉も「事に臨んでは危険を顧みず身をもって責務の完遂に務める」そして「世のため、人のため」をモットーにしていた。

これから、更に大きく羽ばたくとみんなに期待されていた矢先に、大病により長期療養となったのは無念

の極みだが、3代目院長の御子息の将貴先生が立派に継承されているのが心強く有難いことである。ご冥福を心よりお祈りしたい。 合掌

(佐藤征紀 記)

—— 急いで逝ってしまった 水津 博君 —— 八輪会 (昭和50年卒)



親友なのに、手術後の経過を電話で聞いて、見舞いを断られてしまい、しばらくは落ち込んでしまいました

た。今からよく考えてみると、僕たちを避けていた君の気持ちがよく判りました。

いつも元気な君だったから、ちょっとでも弱った自分を見られ、僕らに心配をかけたくなかったのですね。

急いで逝ってしまった。新しいも

の好き。君はいつも流行を先取りして、いろいろなことを教えてくれました。中野あたりでは「やまちゃん」と自分のことを名乗り、若い子のいるお店に案内してくれたね、カラオケが大好きでしたね。

ENDO を教えてくれた。卒業して、臨床を始めると一番難しかったのが歯内療法、一生懸命やってもなんだか結果に結びつかずに不安を抱えていたけれど、君との意見交換で少しずつ好きになってきました。総義歯のこと、咬合のこと、その他仕事や遊びにいつも話し相手をしてくれて、相談に乗ってくれましたね。

十年以上、一緒に ENDO の講習会やりました。歯内療法のおもしろさを皆さんに解ってもらいたくて、いろいろと工夫を凝らした講習会がありました。先に行ってしまったけれどいつかは僕たちもそっちの世界に行くことになるよ。君はいつでも僕らより新しいものを先取りしていたよね。そちらの世界がどうなのかは、分からないけれど、君なりに結構楽しんでいるのではないかと思います。それではそちらでまたお会いできる日を楽しみに生きていきます。 合掌

(久木留廣明, 保坂 誠 記)

—— 渡辺 一先生 —— 朋友会 (平成3年卒)



12月4日の夜、メールで彼の訃報を知った。糖尿病の悪化による突然死だった。

卒業後、口腔外科第二講座に入局し、外来や病棟を忙しく駆け回り粉骨砕身、働いた。学位論文のテーマは口唇顎口蓋裂で講座のメインテーマであった。当時は教授が不在で不安定な状況下、バランスをとって仕事をするのはとても大変だったと思う。平成8

年からは助手として水道橋病院に勤務し、平成14年には千葉病院に戻り、多くの手術を執刀してきた。平成16年に退職し、平成21年4月に念願の地元千代田区で開業したばかりだった。

御両親を早くに亡くし、妹さんと二人だったが、明るく、面倒見のよい性格で先輩や後輩からも慕われていた。人との付き合いをととても大切にし、お酒も大好きだったので、何回一緒に飲んだか数えきれない。豪快な反面繊細で、RX-7に似合わない体つきも印象的だった。通夜、

告別式にはわずか45年の短すぎる人生を惜しむ多くの方々が参列し、改めてその広い人脈に驚かされた。なぜ体のケアを怠ったのか、もしくは出来なかったのか理解できないが、昨今の歯科業界の厳しさもあったのかもしれない。彼の苦労を思うととても悔しく残念でならない。仕切り屋の彼のことだから、天国で飲み屋でも予約して待っていてくれることだろう。 合掌

(平成4年卒・花井淳一郎 記)

## ◆投稿規定

### (1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

### (2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

### (3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3

段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

### ③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

### (5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ<http://www.tdc-alumni.jp/membersonly/kouhoubu.php> をご覧下さい。

## ◆へんしゅうこうき

★ 今年に入って、2ヵ月近く経ちましたが、同窓の先生方は、寒いなか有意義に過ごされていらっしゃるでしょうか？

年々、時間の経過が早くなるのは、しょうがありませんが、時に、今年すべき事、したい事等、今後の事をゆっくり考える時間を持つのは、大切ではないでしょうか。

一般の就職活動では、30年先にも繁栄してる会社をと、考えるそうですが、歯科の30年先は？ 大学移転も近づき、本学の10年先、30年先は？

先輩の諸先生方が、大学の将来を考えて下さった教育のおかげで、現在の国家試験合格率、その後の同窓の活躍があると思います。

その一環としての、水道橋移転、益々の大学の発展の礎になると思いますし、同窓の皆様の協力も、大きな助けになるはずで。

先の事と言えば、お子さんのいらっしゃる同窓の先生方は、子供が、高校くらいになると、進路に関して、いろいろ考えを巡らせるとおもいます。私も、同級生や、後輩に、最近良く尋ねられます。この仕事は、どうか？と。

78歳で、まだ現役で働いている母や、歯科医師会の女友達とも話すのですが、女性差別もないし、学生時代の勉強、働き始めの大変さには、段々慣れてくるし、自分の努力次第で、達成感を得られるので、悩んでるなら、歯科の道へ進んだらどうかと……。

10代で仕事をイメージするのは、難しいし、勉強にクラブに忙しい毎日でしょうが、勉強だけではない体験や読書から、多くのものを吸収して、将来を考えて欲しいと望みます。

個人的にも、年をとればとるほど、静かな思索の時間の重要性を感じています。

まだまだ、冬真っ最中です。雪、噴火等、自然の猛威の中、健康に気をつけて、お過ごし下さい。  
(志村 圭子 記)

## 広報部委員会

委員長  
委員

三友 和夫  
東郷 幹夫  
小池 修  
古澤 成博  
志村 圭子  
福井 雅之  
渡邊 宇一  
島田 篤

## 広報部担当理事

白田 準

平成23年2月20日 印刷

平成23年2月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第380号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 白 田 準

編集人 三 友 和 夫

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)

# 東京歯科大学同窓会会則

平成22年11月27日改正 平成23年1月1日施行

## 第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、東京歯科大学同窓会という。

(事 務 所)

第2条 本会は、事務所を東京都千代田区三崎町2丁目9番18号東京歯科大学内に置く。

(目 的)

第3条 本会は、会員相互の親睦並びに福祉の増進を図るとともに、母校の発展に寄与することをもって目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、第3条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 母校の伝統精神の高揚並びに発展に関すること。
- 二 会員相互の親睦に関すること。
- 三 会員の福祉に関すること。
- 四 歯科医学および歯科医業の向上に関すること。
- 五 会員の表彰に関すること。
- 六 会報その他の印刷物の発行に関すること。
- 七 母校および支部の事業に協力すること。
- 八 その他本会の目的達成に必要なこと。

## 第2章 会 員

(会 員)

第5条 本会の会員は、正会員、臨床研修医会員および特別会員とする。

- 一 正会員は、高山歯科医学院、東京歯科医学院、東京歯科医学校、東京歯科医学専門学校、および東京歯科大学の卒業者、東京歯科医学校附設機関の出身者、並びに東京歯科大学大学院歯学研究科の修了者、または、支部長の推薦により理事会において承認した者とする。前段の正会員は終身会員とし、後段の正会員の推薦並びに承認基準は別に定める。
- 二 臨床研修医会員は臨床研修医終了までの期間とする。
- 三 特別会員は、母校法人の役員、または、役員であった者および母校を退職した教授であって理事会において推薦された者とする。

2 本会の正会員であって、毎年12月31日現在において卒後50年を経過、または80歳に達し、かつ、会員としての義務を果たしている者については、所属支部長よりの報告に基づき、理事会の議を経て、その長寿をたたえ、高齢会員とする

(入 会)

第6条 本会に入会する者は、本籍地、現住所、氏名、性、生年月日、卒業校および卒業年月日、診療所所在地または勤務先を別記様式により所属する支部を通じて届け出なければならない。

ただし、本学卒業者は卒業時に一括入会とし、入会后、臨床研修医である期間は原則として本会にのみ所属する。なお、勤務地のない者は、現住所の支部に所属する。

2 前項の届け出事項に変更を生じた場合は、遅滞なく支部を経由または直接本会に届け出るものとする。

(所 属)

第7条 本会の会員は、その住居地または業務従事場所の何れかの支部に所属する。ただし、臨床研修医または特別の事情のある者は本会に直属することができる。特別の事情については、理事会の議を経て別に定める。

(義 務)

第8条 本会の会員は、次の義務を負う。

一 会則、規則その他会の決定を遵守すること。

二 正会員は、本会所定の入会金、会費、共済負担金およびその他の負担金を原則として支部を通じて納入するものとする。ただし臨床研修医会員においては研修の期間中、本会所定の会費、負担金のみを負担する。また、高齢会員となった者は次年度より会費の負担を免除する。

三 特別会員は、入会金、会費およびその他の負担金を免除する。

2 長期に亘る病気その他特別の事情のある者については、支部長よりの申請に基づき、理事会の議を経て、会費、共済負担金およびその他の負担金の免除、または、納入の延期をすることができる。

(会費等の決定)

第9条 入会金、会費、共済負担金およびその他の負担金の額の決定は評議員会の議決による。

(退 会)

第10条 推薦によって正会員となった者および特別会員が退会を希望する場合は、支部長を通じ、または、直接本会に届け出て承認を求めものとする。

2 第7条ただし書に該当する者は、直接本会に届け出て承認を求めものとする。

3 退会を承認された者の既納の入会金、会費、共済負担金およびその他の負担金等は返還しない。

(処 分)

第11条 会員であって、会則、議決等に違背し、または、本会の名誉並びに体面を汚し、あるいは、綱紀を乱した者は、評議員会の議決を経て戒告、または、期間を定めて会員としての資格を停止することができる。

### 第3章 役 員

(役 員)

第12条 本会に、次の役員を置く。

会 長	1名	理 事	30名以内 (会長, 副会長, 専務理事を含む)		
副会長	5名	専務理事	1名	監 事	3名

2 理事のうち11名は、第34条第1項に規定する地域を代表する者とする。

3 理事は、互選により専務理事1名、常任理事12名以内を定める。ただし、常任理事の中に会長、副会長、専務理事は含めない。

4 監事は、互選により常任監事1名を定める。

(役員を選任)

第13条 会長、監事は評議員会において会員の中から選出する。副会長、理事については評議員会の承認を得て会長の指名により会員から選任する。ただし、第12条第2項に規定する理事は当該地域支部連合会により推薦する者とする。

(役員任期)

第14条 役員任期は2年とし、会計年度の始期より起算する。

2 役員は、再任されることができる。

3 役員は、任期満了の後でも後任の役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。

(役員補充)

第15条 役員それぞれの定数の1/3をこえるものが欠けたときは、補充しなければならない。

2 補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(理事職務)

第16条 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるとき、または、会長が欠けたときは、会長が予め定めた順次により、その1人が会長の職務を代理し、または、会長の職務を代行する。

3 専務理事は、会長、副会長を補佐し、会長および副会長がともに事故あるときは、会長の職務を代理し、または、会長の職務を代行する。

4 理事は、会務を分掌する。会長、副会長、専務理事とともに事故あるとき、または、会長、副会長、専務理事が欠けたときは、理事会において予め定められた順次により、その1人が会長の職務を代理し、または、会長の職務を代行する。

(監事職務)

第17条 監事は、本会の会務の執行状況および財産の状況を監査する。

## 第4章 評議員

(評議員)

第18条 本会の重要事項を審議するため、評議員を置く。

(評議員選任)

第19条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

一 支部所属正会員100名、または、その端数を増すごとに1名。ただし、最初の1名は支部長が兼ねるものとし、他は支部長が推薦するものとする。

二 日本歯科医師会役員、日本歯科医師会代議員および都道府県歯科医師会会長

三 評議員の選任基準による者

2 前項一号の評議員が、支部長の地位を離れ、または、支部長の推薦を得られないときは、評議員の資格を失うものとする。

3 第1項二号の評議員がその地位を離れたときは、評議員の資格を失うものとする。

4 第1項一号、三号の評議員が評議員会を欠席するときは、委任状を会長に提出し、評議員会の承認を経て、代理の者を出席させることができる。

(評議員任期)

第20条 評議員任期は、第14条の規定を準用する。

## 第5章 名誉会長、名誉会員、顧問、嘱託および委員

(名誉会長)

第21条 本会に名誉会長を置くことができる。

2 名誉会長は、本会の会長として3期以上に亘りその職責を果たし、功績とくに顕著と認められる者につき、評議員会の議決を経て推戴する。名誉会長は、本会における最高の榮譽の敬称とし、

会費並びに共済負担金およびその他の負担金を免除する。

(名誉会員)

第22条 本会に名誉会員を置くことができる。

2 会長は、会務その他につき、とくに功労顕著な者を評議員会の議決を経て名誉会員に推薦し、めいよ会員章を贈り、会費並びに共済負担金およびその他の負担金を免除する。

(顧問および嘱託)

第23条 会長は、会務につき協力を得るため、顧問および嘱託を委嘱することができる。

2 顧問および嘱託の任期は、委嘱した会長の任期に準ずるものとする。

(委員)

第24条 会長は、本会の必要に応じ委員を委嘱し委員会を設置することができる。

2 委員の任期は、第23条第2項に準ずる。

## 第6章 表彰

(表彰)

第25条 本会は、本会の発展のため、または、歯科医事衛生その他社会福祉のため貢献した者について、理事会の議を経て、評議員会に報告し、表彰を行うことができる。

(表彰の方法)

第26条 表彰の方法は、表彰状の授与若しくは記念品の贈呈等とする。

## 第7章 支部および地域支部連合会

(支部)

第27条 本会は、北海道各地区、東京都各地区および府県に支部を置く。

2 母校に大学支部を置く。

(支部役員)

第28条 支部に次の役員を置く。

支部長 1名

幹事 若干名(支部長は幹事とする)

その他支部において必要と認められた者。

(支部役員を選任)

第29条 支部役員は、支部総会で支部会員の中から選任する。

(支部長の任務)

第30条 支部長は、支部会員を掌握し、その融和と親睦を図り、支部を代表して次の任務を行う。

- 一 支部長は、支部長会およびその他重要な会に出席し、支部の意見を反映せしめるとともに、それら会議の決定事項を会員に周知徹底せしめなければならない。
- 二 支部長は、本会との連絡を密にし、本会会費、共済負担金およびその他の負担金を支部会員より徴収し、納入しなければならない。

(本会に対する要望事項)

第31条 支部長は、支部会員の本会に対する要望事項その他本会運営の参考となるべき事項を遅滞なく会長に報告するものとする。

(支部の経費および業務)

第32条 支部の経費は、支部で負担するものとする。

2 支部は、支部固有の業務のほか、本会の委任事務および事業に協力するものとする。

(支部規則)

第33条 支部規則は、支部においてこれを定め、本会に報告するものとする。

(地域支部連合会)

第34条 本会は、別表1の地域別に地域支部連合会を置く。

2 地域支部連合会は、当該地域内の支部の連繋を密にして、本会の発展に関する協力機関とする。

(連合会役員を選任)

第35条 地域支部連合会役員は、地域支部連合会において選任する。

(連合会総会)

第36条 地域支部連合会総会は、原則として毎年1回開催する。

## 第8章 会 議

(会 議)

第37条 本会の会議は、総会、評議員会、支部長会、学年代表者会、理事会、常任理事会、委員会、特別委員会およびその他各種会議とする。

(総 会)

第38条 総会を定時総会と臨時総会とに分ける。

(定時総会)

第39条 定時総会は、毎年1回、11月に会長が招集する。

2 定時総会に報告すべき事柄は、次のとおりとする。

- 一 予算
- 二 会務および事業の概況
- 三 その他の必要な事柄

3 定時総会において議決すべき事柄は、次のとおりとする。

- 一 会則の変更
- 二 決算および資産の状況

(臨時総会)

第40条 臨時総会は、会長が必要と認めるとき招集する。

(総会の議長)

第41条 総会の議長、副議長は、その都度出席した会員の中から選出する。

(評議員会)

第42条 評議員会は、総会の前に会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは、その都度評議員会を招集する。

(評議員会の議長)

第43条 評議員会の議長、副議長は、その都度出席した評議員の中から選出する。

(評議員会の議事)

第44条 次の事柄は、評議員会の議決または承認を要する。

- 一 会則の変更
- 二 会長、監事の選出
- 三 名誉会長の推戴
- 四 名誉会員の推薦



- 五 予算、決算並びに資産の状況
- 六 入会金、会費、共済負担金およびその他の負担金の決定
- 七 支部の設置
- 八 その他の必要な事柄

(支部長会)

第45条 支部長会は、必要に応じ会長が招集し、会務を協議する。

2 支部長会の議長は、会長とする。

(学年代表者会)

第46条 学年代表者会は、必要に応じ会長が招集し、会務を協議する。

(理事会)

第47条 会長は、必要ある場合は、随時理事会を招集し、その議長となる。

2 理事会は、理事をもって構成する。監事は、随時出席して意見を述べることができる。

(理事会の任務)

第48条 次の事柄は、理事会の議決を要する。

- 一 総会、支部長会、評議員会の招集およびこれに付議する事柄
- 二 その他必要と認められる事柄

(常任理事会)

第49条 会長は、必要ある場合は、随時常任理事会を招集し、その議長となる。

2 常任理事会は、会長、副会長、専務理事および常任理事をもって構成し、常務を処理する。監事は、随時出席して意見を述べることができる。

(会議の議決または承認)

第50条 総会、評議員会、支部長会、理事会および常任理事会の議事は、議決、または、承認時の出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 前項の場合において議長、副議長は、その会議の構成員として議決に加わることができない。

(議事録)

第51条 議長は、各会議についてその開催の場所および日時並びにその他の事項について、その都度議事録を作成し、事務所に保管しなければならない。

2 前項の議事録のうち総会および評議員会については、出席者のうち2名の議事録署名人を議長が指名し、署名、捺印せしめるものとする。

(会議の招集)

第52条 会議の招集は、会議の7日前までに発信しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りではない。

(委員会)

第53条 会長は、必要があると認めたときは、委員会および特別委員会を設置することができる。

2 委員会および特別委員会は、委員をもって組織し、会長が委嘱する。

3 委員会および特別委員会の構成および任務その他必要な事項は、その都度別に定める。

## 第9章 会計および資産

(資産)

第54条 本会の資産は、財産目録記載のとおりとする。

(経費)

第55条 本会の経費は、会費、負担金、寄付金およびその他の収入をもって支弁する。

2 会費および共済負担金の納入期日は、その年度の4月末日までとする。

(基金)

第56条 本会に東京歯科大学同窓会基金、血脇記念基金および共済基金を置く。

2 東京歯科大学同窓会基金は、入会金をもってこれにあてる。

3 血脇記念基金は、本会経常部会計より毎年定額を繰入れる。

4 共済基金は、共済負担金その他をもってこれにあてる。

5 各基金は、特別会計とする。

6 第2項および第3項に規定する基金は、確実な有価証券を購入し、または、信託銀行に信託し、または、銀行に定期預金とし、若しくは定額郵便貯金とし、会長が保管する。

7 前項の基金のとり崩しは、評議員会の承認を得なければ行うことができない。

(特別会計)

第57条 基金その他の特別会計に関しては、別に規程をもって定めるものとする。

(予算)

第58条 本会の予算は、毎会計年度開始前に編成して、評議員会に議案として提出しなければならない。

(決算)

第59条 本会の決算および資産の状況は、毎会計年度終了後に作成し、監事の監査を受け、評議員会および定時総会に提出し、議決、または、承認を受けなければならない。

(会計年度)

第60条 本会の会計年度は、1月1日に始まりその年の12月31日に終わる。

## 第10章 会 務 処 理

(事務局)

第61条 本会は、会務を処理するため事務局に次の職員を置き、会長がこれを任免する。

一 事務長 1名

二 事務員 若干名

2 前項の職員は、役員、または、上司の命を受けて事務を処理する。

(会務処理機構)

第62条 本会は、会務処理の円滑を期するため、次の五部を置き、各部に会長指名の担当理事を置く。

一 総務・厚生部

二 会計部

三 渉外部

四 広報部

五 事業推進部

2 各部の所掌業務については、別に定める。

## 第11章 雑 則

(会則の変更)

第63条 本会則の変更は、評議員会および総会の議決を経なければならない。

(附属諸規程の制定)

第64条 本会則により本会を運営するにあたり、さらに附属諸規程を設けることが必要と認めるときは、会長は理事会に命じて、必要な規程を定めることができる。

2 前項の規定は、次回の評議員会に報告するものとする。

## 第12章 付 則

(施行期日)

第65条 本会則は、平成23年1月1日から施行する。

別表1

会則第34条第1項に規定する地域は、次のとおりとする。

- (1) 北海道
- (2) 東北（青森，岩手，宮城，秋田，山形，福島）
- (3) 関東（茨城，栃木，群馬，埼玉，千葉，神奈川，山梨）
- (4) 東京
- (5) 信越（長野，新潟）
- (6) 東海（静岡，愛知，岐阜，三重）
- (7) 北陸（富山，石川，福井）
- (8) 近畿（滋賀，京都，大阪，兵庫，奈良，和歌山）
- (9) 中国（鳥取，島根，岡山，広島，山口）
- (10) 四国（徳島，香川，愛媛，高知）
- (11) 九州（福岡，佐賀，長崎，熊本，大分，宮崎，鹿児島，沖縄）